
MRX-P21U

定位置型バーコードリーダー

操作説明書

目次

注意事項	4
1 パラメータ	5
1.1 技術パラメータ	5
1.2 バーコードプリセットパラメータ	7
2 スタート	9
2.1 ケーブルコネクタ	9
2.2 外観サイズ.....	10
2.3 部品説明.....	11
2.4 ケーブルの取り付け	11
2.4.1 USB ケーブル	11
2.5 自動検知スキャンモード.....	12
3 パラメータ設定	15
3.1 例 1 : 1 次元バーコードをスキャンして、単一のパラメータ設定を完了させる	15
3.2 例 2 : QR コードをスキャンして、複数のパラメータ設定を完了させる	16
3.3 インターフェース	18
3.4 USB インターフェース.....	19
3.5 スキャンモードと一部グローバル設定	22
3.6 LED インジケータとブザーインジケータ	29
3.7 スキャン時の照明設定とエイミング設定	30
3.8 DPM コード、複数のシンボル、連結シンボルなどの読取設定	32
3.9 UPC-A	39
3.10 UPC-E	41
3.11 UPC-E1.....	43
3.12 EAN-13 (ISBN/ISSN)	45
3.13 EAN-8	47
3.14 Code 39 (Code 32, Trioptic Code 39)	49
3.15 Interleaved 2 of 5	52
3.16 Industrial 2 of 5.....	54
3.17 Matrix 2 of 5	55
3.18 Codabar	57
3.19 Code 128.....	59
3.20 ISBT 128	61
3.21 Code 93.....	63
3.22 Code 11.....	65
3.23 MSI/Plessey	67

3.24	UK/Plessey	69
3.25	UCC/EAN 128.....	71
3.26	China Post	73
3.27	GS1 DataBar (GS1 DataBar Truncated)	74
3.28	GS1 DataBar Limited	76
3.29	GS1 DataBar Expanded	77
3.30	China Finance.....	78
3.31	PDF417	81
3.32	MicroPDF417	82
3.33	QR Code	83
3.34	Data Matrix	84
3.35	Han Xin Code	85
3.36	Aztec Code.....	86
3.37	G1-G6、C1-C3、FN1 文字列を置換えの設定.....	87
3.38	G1-G4 文字列位置と Code ID 位置.....	93
3.39	文字列転送.....	94
4	その他の設定	97
4.1	共通設定.....	97
4.2	音声の音量設定	98
5	デバイスのメンテナンス.....	99
6	ASCII リスト	100
7	印刷できないキャラクターを表すバーコード.....	102
8	テストパターン	104
9	工場出荷時設定の復元とバージョン情報の表示.....	107
10	オプションパラメータバーコードの設定	108

注意事項



定位置型バーコードリーダーの動作電圧は5Vです。定位置型バーコードリーダーと設備を接続する前に、電源の定格電圧を確認してください。

- ☞ 定位置型バーコードリーダーとともにユーザーに提供するすべてのソフトウェア（ファームウェアを含む）は、ソフトウェア著作権と著作権によって保護されます。
- ☞ メーカーは定位置型バーコードリーダーの安定性または性能向上のためにソフトウェア（ファームウェアを含む）を修正する権利を所有します。
- ☞ 本マニュアルの内容は、予告なしに変更することがあります。
- ☞ 定位置型バーコードリーダーパッケージ内容：定位置型バーコードリーダー本体、USB ケーブル

1 パラメータ

1.1 技術パラメータ

外観サイズ	長さ*幅*高さ：93mm*95.0mm*157mm
重さ	298.5g（ケーブルなし）
ケーブル	2m
インターフェース種類	RJ-45 クリスタルヘッド
インジケータ	LED インジケータ、ブザー
インターフェース	USB キーボード、USB バーチャルシリアルポート
トリガ方式	手動、自動検出
設定方式	手動で設定バーコードを読み取る
プログラムのアップグレード	パソコンでオンラインアップグレード
入力電圧	4.6-5.5VDC
電流	110mA（待機）、370mA（スキャン）
スキャン種類	画像スキャン
解像度	1280×800 ピクセル
視野角	水平：64°、垂直：44°
スキャン角度	±70°、±70°、360°（左右、前後、回転）
モーショントレランス	13mil の UPC-E バーコードの場合、最適焦点で 1.27m/s(50in/s)
印刷コントラスト	最小 20% 反射率差
最小解像度	1D（Code 39）：5mil、2D（PDF417）：6.7mil
読取コード	1D: UPC-A, UPC-E, UPC-E1, EAN-13, EAN-8, ISBN (Bookland EAN), ISSN, Code 39, Code 39 full ASCII, Code 32, Trioptic Code 39, Interleaved 2 of 5, Industrial 2 of 5, Matrix 2 of 5, Codabar (NW7), Code 128, UCC/EAN 128, ISBT 128, Code 93, Code 11 (USD-8), MSI/Plessey, UK/Plessey, China Post, China Finance, GS1 DataBar (formerly RSS) variants
	2D: PDF417, MicroPDF417, QR Code, DataMatrix, Han Xin Code, Aztec Code

読取距離	5mil Code 39 (3 キャラクタ)	5-55mm
	10mil Code 39 (3 キャラクタ)	0-140mm
	13mil UPC (6 キャラクタ)	0-150mm
	20mil Code 39 (1 キャラクタ)	0-230mm
	6.7mil PDF417(20 キャラクタ)	15-60mm
	10mil QR (20 キャラクタ)	0mm-40mm
	20mil QR (20 キャラクタ)	0mm-150mm
温度	-20℃～55℃ (動作) 、 -20℃～75℃ (保管)	
湿度	5%～95% (結露しないこと)	
安全等級	EMC 電磁両立性 : EN55022、EN55024 電気安全 : EN60950-1 光照射安全 : EN62471:2008 光照射レベル : 0～100、000LUX 密封レベル : IP52 耐落下強度 : 1.5m	

1.2 バーコードプリセットパラメータ

コードの種類	読取確認	チェックデ ジット確認	チェックデ ジット転送	最小コード 長	カスタム Code ID	AIM Code ID
UPC-A	√	√	√	(12) ²	A	]Em
UPC-E	√	√	√	(8) ²	D	]Em
UPC-E1	√	√	√	(8) ²	D	]Em
EAN-13	√	√	√	(13) ²	A	]Em
EAN-8	√	√	√	(8) ²	C	]Em
ISBN (Bookland EAN) / ISSN1	√	√	√	(13) ²	B	]Em
Code 39	√	-	-	1	M	]Am
Interleaved 2 of 5	√	-	-	6	I	]Im
Industrial 2 of 5	-	-	-	4	H	]Im
Matrix 2 of 5	√	-	-	6	X	]Im
Codabar	√	-	-	4	N	]Fm
Code 128	√	√	-	1	K	]Cm
UCC/EAN 128 (GS1- 128)	√	√	-	1	K	]Cm
ISBT 128	√	√	-	1	K	]Cm
Code 93	√	√	-	1	L	]Gm
Code 11	-	√	-	4	V	]Hm
MSI/Plessey	-	-	-	4	O	]Mm
UK/Plessey	-	√	-	1	U	]Mm
China Post	√	-	-	(11) ²	T	]Im
China Finance	√	-	-	(10) ²	Y	-
GS1 DataBar	√	-	-	(16) ²	R	]em
GS1 DataBar Truncated3	√	-	-	(16) ²	R	]em
GS1 DataBar Limited	√	-	-	(16) ²	R	]em
GS1 DataBar Expanded	√	-	-	1	R	]em
GS1 Composite	-	-	-	-	y	]em
PDF417	√	-	-	-	p	]Lm
MicroPDF417	-	-	-	-	p	]Lm
DataMatrix	√	-	-	-	d	]dm
QR code	√	-	-	-	q	]Qm

コードの種類	読取確認	チェックデ ジット確認	チェックデ ジット転送	最小コード 長	カスタム Code ID	AIM Code ID
MicroQR code	√	-	-	-	q	]Qm
Han Xin Code	-	-	-	-	h	]Xm
Aztec Code	-	-	-	-	a	]zm

注 1 : ISBN/ISSN の設定パラメータは EAN-13 の設定パラメータと常に同じです。

注 2 : 固定長のバーコードです。

注 3 : GS1 DataBar Truncated の設定パラメータは GS1 DataBar の設定パラメータと常に同じです。

2 スタート

2.1 ケーブルコネクタ

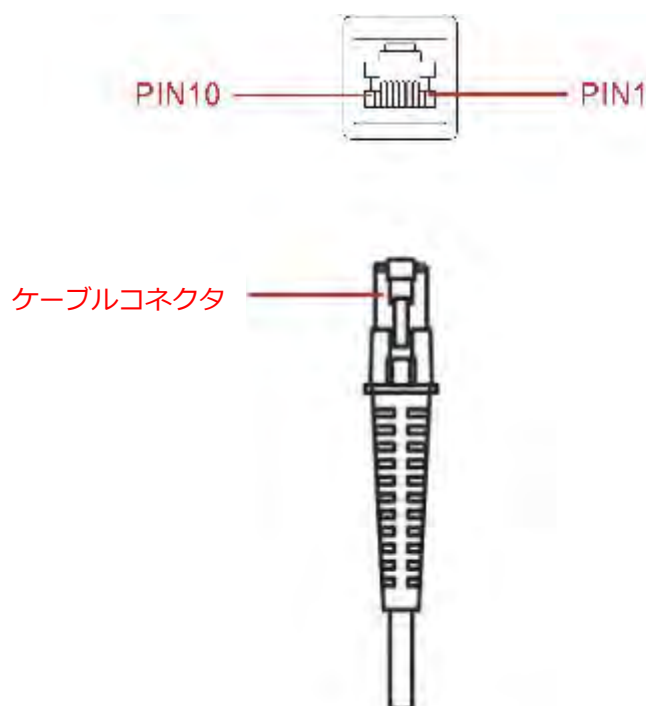


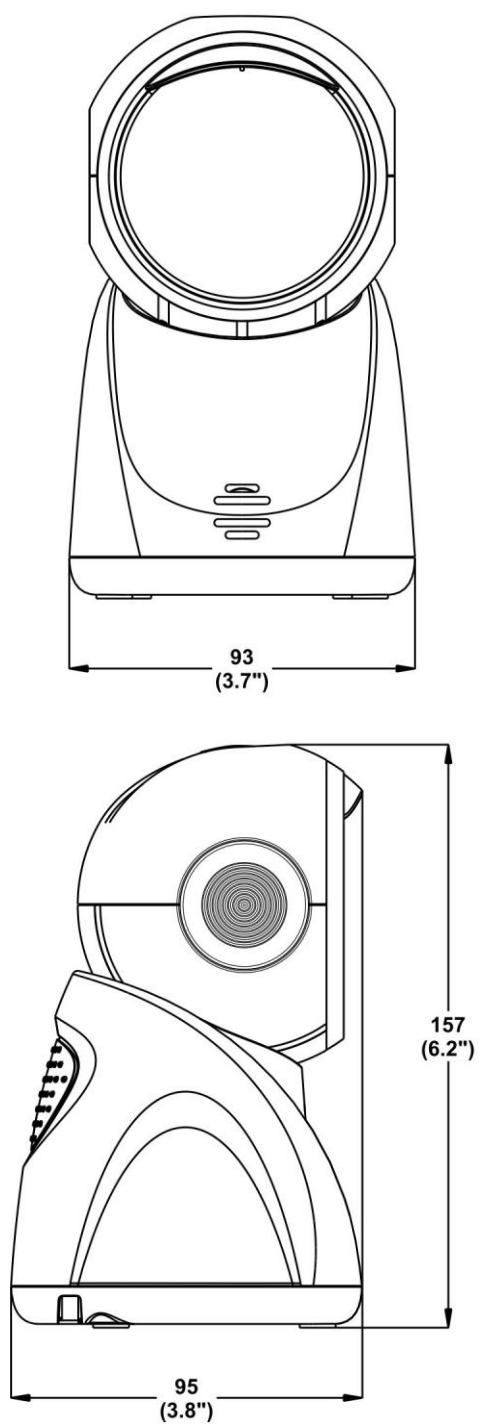
図 2-1 ケーブルコネクタの概略図

表 2-1 ケーブルコネクタの定義

Pin	USB
1	電源 (Power, +5V)
2	+3.3V (インターフェースタイプを自動的に識別するために使用)
3	Ground
4	Ground (インターフェースタイプを自動的に識別するために使用)
5	Reserved
6	Reserved
7	Reserved
8	Reserved
9	D-
10	D+

2.2 外観サイズ

単位 : mm



2.3 部品説明

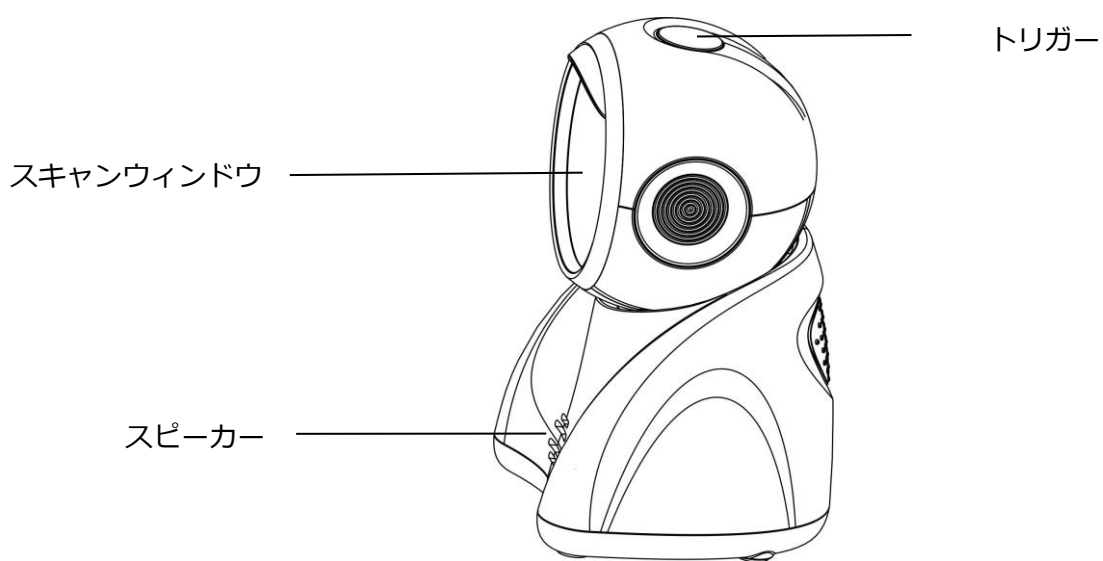


図 2-2

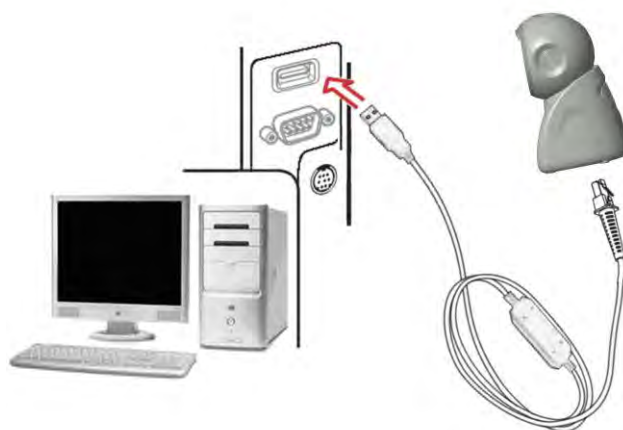
2.4 ケーブルの取り付け

2.4.1 USB ケーブル

USB ケーブルでホストから定位置型バーコードリーダーに電源を供給します。ホストの USB 給電が不十分な場合は、追加の電源が必要になります。

取り付け方法は以下の通り：

- 1) ケーブルのクリスタルプラグをバーコードリーダーに接続します。
- 2) ケーブルの USB 端子をデバイスの USB インターフェースに接続します。
- 3) 接続が完了すると、リーダーが自動的に起動します。



2.5 自動検知スキャンモード

- 1) 読取対象のバーコードがリーダーのスキャン範囲内に入るようにスキャン角度を調整してください。
- 2) バーコードがリーダーのスキャン範囲に入ると、定位置型バーコードリーダーが読み取りを開始します。読み取りが成功した場合、または一定時間が経過しても読み取れない場合、スキャンが停止します。
- 3) スキャンが停止すると、次の読み取りを再開させるためには、バーコードをリーダーのスキャン範囲から1回離してください。

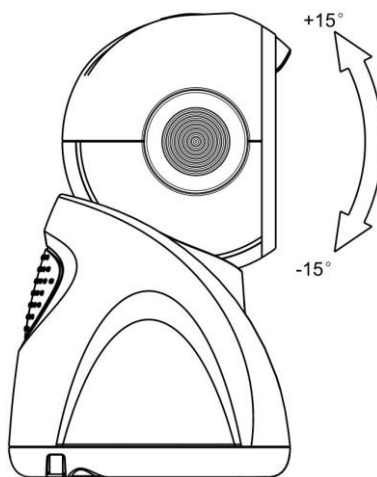


図 2-5

2.6 スキャン範囲

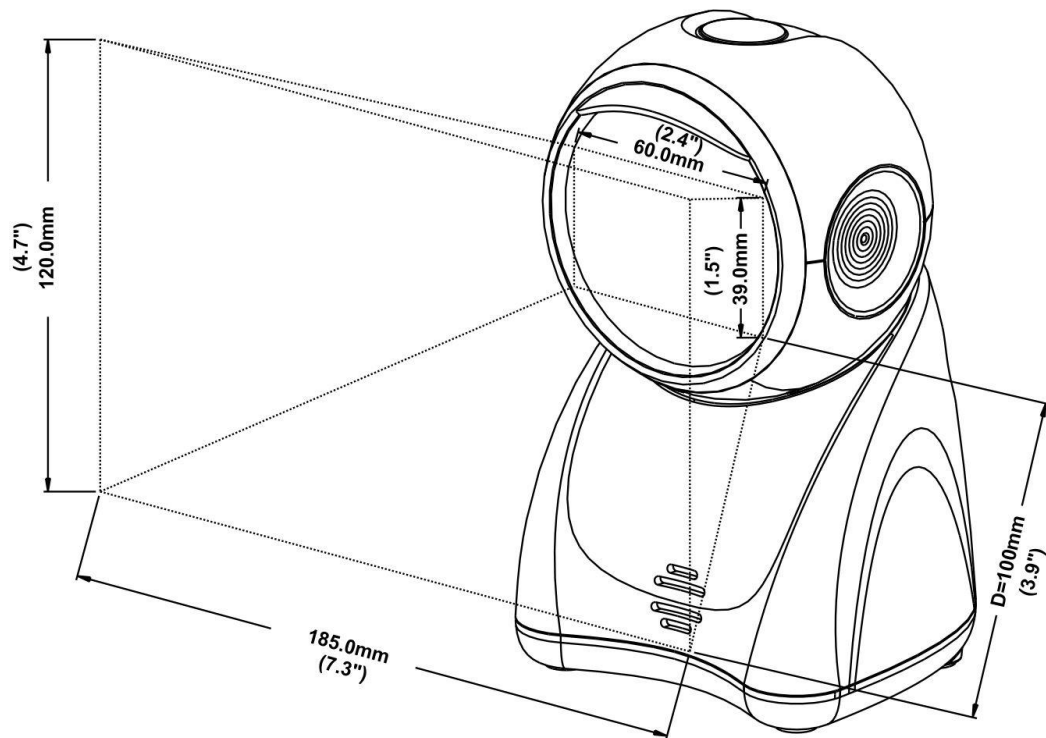


図 2-6 スキャン範囲

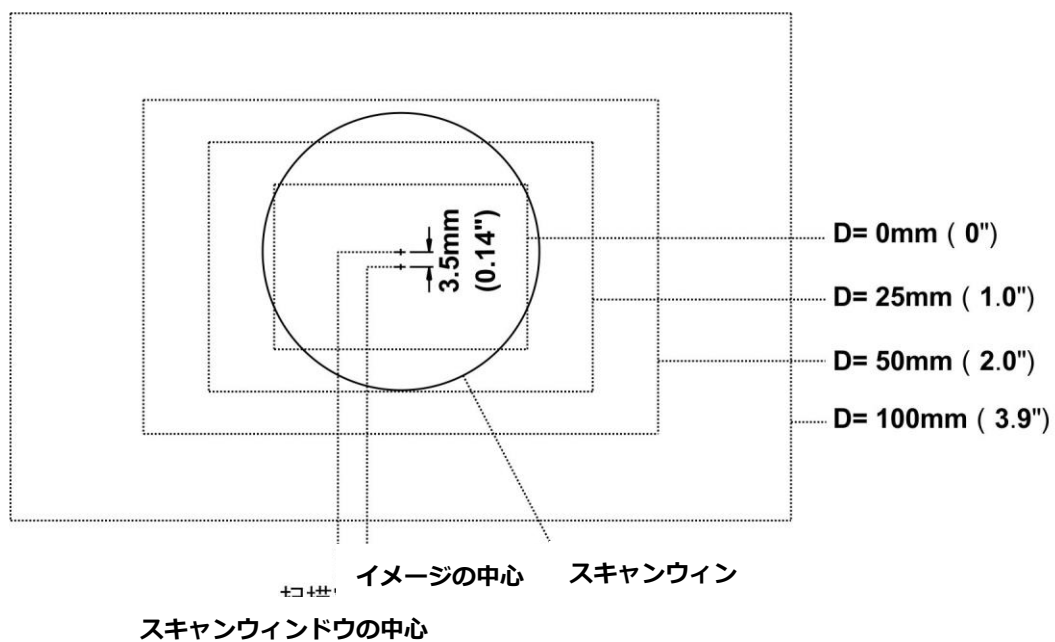


図 2-7 可視区間-正面図

3 パラメータ設定

3.1 例 1：1 次元バーコードをスキャンして、単一のパラメータ設定を完了させる

注：

1. 設定中、定位置型バーコードリーダーの LED ライトが常に点灯し、設定が正確に進行していることを示します。設定が間違っている場合、LED が消灯します。
2. 設定が正常に完了すると、定位置型バーコードリーダーの LED がオフし、ブザーが 2 回鳴ります。
3. このマニュアルでは、工場出荷時の設定パラメータにアスタリスク（*）が付いています。
4. このマニュアルでは、1 次元バーコードのバーコード種別は 128 コードです。

2 つのスキャン設定方法：

① シングルステップ設定

ユーザーが希望のシングルステップ設定バーコードをスキャンします。。

例：フロー制御モードを XON / XOFF に設定します。

手順：次の設定バーコードのみをスキャンします。



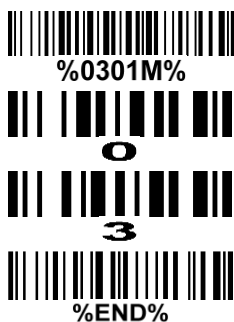
② マルチステップ設定

パラメータ設定手順は次のとおりです。

1. ユーザーが希望のオプションバーコードをスキャンします。
2. パラメータ値に該当する 2 つの英数字（0～9 または A～F）をスキャンします。「9 オプションパラメータ設定バーコード」を参照してください。
3. パラメータ値が複数の英数字に該当する場合は、手順 2 を繰り返します。
4. 設定完了バーコードをスキャンします。

例：フロー制御モードを XON / XOFF に設定します。

手順：次の設定バーコードを順番にスキャンします。



3.2 例 2 : QR コードをスキャンして、複数のパラメータ設定を完了させる

ユーザーは複数のパラメータにて設定を行う時、QR コードを作成し、定位置型バーコードリーダーでこの QR コードをスキャンすることで、複数のパラメータによる設定を完成させることができます。

一、QR コードのデータフォーマットは次の通りです。

%	パラメータ設定 1	%	パラメータ設定 2	%	...	パラメータ設定 N	%
---	-----------	---	-----------	---	-----	-----------	---

<オプションバーコードインデックス> <D/H> <パラメータ値>

その中で：

<オプションバーコードインデックス>は、オプションバーコードが対応している 0～9 の間の 4 つの数字を示します。

<D / H>は「D」または「H」文字を示し、D はパラメータ値のタイプが 10 進数であることを示し、H はタイプが 16 進数であることを示します。

<パラメータ値>は文字列で、オプションパラメータにより、長さを 2、4、またはその他の値にすることができます。

例：

0401-> 03 (10 進数)、8002-> 0D0A (16 進数)、8202-> 01 (10 進数) を設定すると、QR コードの内容と対応する QR コードは次のようになります。

%0401D03%8002H0D0A%8202D01%



二、QR コード作成上のご注意

QR コードの作成は、M2 バージョン (Model : M2) を使用してください。セキュリティレベル (ECC) や開始モード (Start mode) など、バーコードの構造に関するその他の条件は制限されません。

三、その他の注意

1. 一つの QR 設定バーコードに、同じまたは異なるパラメータ値を保持する同じオプションバーコードインデックスを含めることができます。異なるパラメータ値を持つ同じオプションバーコードインデックスの場合、表示される最後のパラメータ値が有効な値となります。
2. パラメータ設定が一つでも正しくない場合は、全体の設定が無効になります。無効の原因としては、「オプションバーコードインデックス」が正しくないか、「D/H」が正しくない、または「パラメータ値」のタイプ、長さまたは許容範囲が正しくない、などがあります。

3.3 インターフェース

定位置型バーコードリーダーは USB インターフェースをサポートしています。 通常、付属のケーブルで正しく接続すれば、定位置型バーコードリーダーが正常に動作します。

インターフェースの認識：

自動認識-このモードを選択すると、定位置型バーコードリーダーは、インターフェースを自動的に認識します。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
オプションバーコード	オプション	パラメータ値	
インターフェースの認識  %0101M%	自動認識	00*	 %0101D00% *
	USB	03	 %0101D03%
設定を完了させる  %END%			

3.4 USB インターフェース

USB デバイスタイプ：

HID キーボード-この動作モードを選択すると、定位置型バーコードリーダーが USB HID キーボードエミュレーションデバイスとして認識されます。

USB 仮想シリアルポート- 定位置型バーコードリーダーが Windows コンピュータに接続されている場合は、接続されている PC に対応するドライバーソフトウェアをインストールする必要があります。また、バーコード情報を表示させるためのソフトウェアも必要になります。関連するドライバーとソフトウェアは、担当営業にお問い合わせください。

注：USB デバイスタイプの設定を変更すると、定位置型バーコードリーダーが再起動します。

キーボードレイアウト：複数の国のキーボードレイアウトをサポートしています。

連続スキャンモードでの読取間隔：各データが送信された後の間隔時間を指します。この設定により、定位置型バーコードリーダーのデータ出力速度を変更して、ホストコンピュータの USB 通信ポートの速度に合わせることができます。

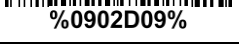
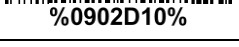
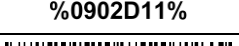
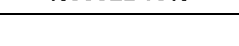
数字キー：

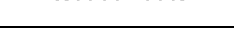
アルファベットキー-定位置型バーコードリーダーがアルファベットキーとしてコードを出力します。

テンキー-定位置型バーコードリーダーがテンキーとしてコードを出力します（「0」、「1」、「2」、「3」、「4」、「5」、「6」、「7」、「8」、「9」、「。」、「+」、「-」、「/」、「*」のみ出力します）。

Alt +テンキー-定位置型バーコードリーダーがキーボードで Alt +数字キーを押下した時と同じ状態でコードを出力します。 注：Num Lock キーを必ず ON にしてください。この設定は、さまざまな国別キーボードレイアウトでの使用に特に適合させることができます。

USB ファンクションキー-印字不可文字の出力と禁止、及び印字不可文字に対応するファンクションコードの出力と禁止をサポートします。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
オプションバーコード	オプション	パラメータ値	
USB デバイスタイプ  %0901M%	HID キーボード	00*	 %0901D00% *
	Apple Mac HID キーボードをサポート	01	 %0901D01%
	USB 仮想シリアルポート	02	 %0901D02%
キーボードレイアウト  %0902M%	USA	00*	 %0902D00% *
	Turkish F	01	 %0902D01%
	Turkish Q	02	 %0902D02%
	French	03	 %0902D03%
	Italian	04	 %0902D04%
	Spanish	05	 %0902D05%
	Slovak	06	 %0902D06%
	Denmark	07	 %0902D07%
	Japanese	08	 %0902D08%
	German	09	 %0902D09%
	Belgian	10	 %0902D10%
	Russian	11	 %0902D11%
	Czech	12	 %0902D12%
	Taibun	13	 %0902D13%
	Hungary	14	 %0902D14%
	Swiss German	15	 %0902D15%
	Portugal	16	 %0902D16%

キャラクターエンコード システム  %0413M%	「3-7 スキャンモードと一部グローバル設定」セクションを参 照してください。		
連続スキャンモードでの 読取間隔  %0903M%	0 ミリ秒	00	 %0903D00%
	5 ミリ秒	01*	 %0903D01% *
	10 ミリ秒	02	 %0903D02%
	20 ミリ秒	03	 %0903D03%
	40 ミリ秒	04	 %0903D04%
	60 ミリ秒	05	 %0903D05%
数字キー  %0904M%	アルファベットキーボ ード	00*	 %0904D00% *
	テンキー	01	 %0904D01%
	Alt+テンキー	02	 %0904D02%
	GBK	03	 %0904D03%
	BIG5	04	 %0904D04%
	TAIBUN	05	 %0904D05%
USB ファンクションキー  %0905M%	非表示のキャラクターを 出力	00	 %0905D00%
	非表示のキャラクターに 対応するファンクション キーを出力	01*	 %0905D01% *
	非表示のキャラクターの 出力を禁止	03	 %0905D03%
設定を完了させる  %END%			

3.5 スキャンモードと一部グローバル設定

スキャンモード：

シングルキートリガー-ボタンを押せばスキャンが開始します。読取が成功した時、またはスタンバイタイムが切れるまでに読取ができなかった時、スキャンが停止します。

トリガーホールド-ボタンを押せばスキャンが開始し、ボタンを離すとスキャンが停止します。読取が成功した時、またはスタンバイタイムが切れるまでに読取ができなかった時、スキャンが停止します。

オンオフホールド-ボタンはトグルスイッチとして機能し、押すと連続スキャンが開始し、もう一度押すとスキャンが停止します。定位置型バーコードリーダーが ON している間は、スタンバイタイムの影響を受けません。

ホールド-連続スキャンします。ボタンの押下やスタンバイタイムの影響を受けません。

シングルキーホールド-ボタンを押せば連続スキャンが開始します。スタンバイタイムが切れるまでに読取ができなかった場合はスキャンが停止します。

画像検知-シングルキーホールド-定位置型バーコードリーダーのスキャン範囲内にバーコードが検出された場合は自動的に連続スキャンが開始します。スタンバイタイムが切れるまでに読取ができなかった場合はスキャンが停止します。停止してから再度自動スキャンを開始させるにはバーコードをいったんスキャン範囲から外す必要があります。

画像検知-シングルキートリガー-定位置型バーコードリーダーのスキャン範囲内にバーコードが検出された場合は自動的にスキャンが開始します。読取が成功したか、またはスタンバイタイムが切れるまでに読取ができなかった場合はスキャンが停止します。停止してから再度自動スキャンを開始させるにはバーコードをいったんスキャン範囲から外す必要があります。

赤外線センサー-シングルキーホールド 1-定位置型バーコードリーダーのスキャン範囲内にバーコードが検出された場合は自動的にスキャンが開始します。スタンバイタイムが切れるまでに読取ができなかった場合はスキャンが停止します。停止してから再度自動スキャンを開始させるにはバーコードをいったんスキャン範囲から外す必要があります。

赤外線センサー-シングルキートリガー-定位置型バーコードリーダーのスキャン範囲内にバーコードが検出された場合は自動的にスキャンが開始します。読取が成功したか、またはスタンバイタイムが切れるまでに読取ができなかった場合はスキャンが停止します。停止してから再度自動スキャンを開始させるにはバーコードをいったんスキャン範囲から外す必要があります。

赤外線センサー-シングルキーホールド 2-定位置型バーコードリーダーのスキャン範囲内にバーコードが検出された場合は自動的に連続スキャンが開始します。読取が成功していなくても、対象バーコードがスキャン範囲内で検出されている限り、スキャンは続行します。対象バーコードがスキャン範囲内にない場合、スタンバイタイムが切れると、スキャンが停止します。停止してから再度自動スキャンを開始させるにはバーコードをいったんスキャン範囲から外す必

必要があります。

バーコード検出：画像ベースの自動検知モードでは、バーコード検出とは、リーダーがテキスト、グラフィック、バーコードなどのバーコードに類似したオブジェクトを検出した場合のみ、読取を開始することを意味します。

バーコード検出間隔設定：バーコード検出間隔設定とは、設定された検出間隔において、オブジェクトが検出されなかった場合、バーコード検出機能が ON する機能を意味します。

ホールドタイム：ユーザーが設定できる時間単位です。

同一の 1 次元コードの連続読取間隔設定：1 次元コードをスキャンし、出力してから、再度同じ 1 次元コードをスキャンする場合は、設定した読取間隔の間、その 1 次元コードをリーダーのスキャン窓から遠ざける必要があります。読取間隔を 00 (0ms) に設定した場合は、1 次元コードを移動しなくても連続読取ができます。FF に設定した場合は読取間隔が無限になるため、同一コードの再読取ができなくなります。

同一の 2 次元コードの連続読取間隔設定：2 次元コードをスキャンし、出力してから、再度同じ 2 次元コードをスキャンする場合は、設定した読取間隔の間、その 2 次元コードをリーダーのスキャン窓から遠ざける必要があります。読取間隔を 00 (0ms) に設定した場合は、2 次元コードを移動しなくても連続読取ができます。FF に設定した場合は読取間隔が無限になるため、同一コードの再読取ができなくなります。

ダブルチェック：数回繰り返して同じデコード結果が出てから、読み取り値が有効と判断されます。

1 次元コードの最大/最小コード長：読取可能な 1D バーコードのデータ長を指定します。指定する最小コード長が最大コード長を超えないようにしてください。固定長のコードの場合は、最大と最小コード長を同じ値に設定して、強制的に読み取ることができます。

注：

1.最大/最小コード長の設定は、それぞれのバーコードタイプに応じて設定してください。一部のコードシステムにはチェックキャラクタが含まれておらず、最小コード長の出荷時設定は 3 です。

2.コード長とは、出力したデータの長さを指します。

3.UPC-A、UPC-E、EAN-13、EAN-8、China Post は固定長コードであり、この設定の対象になりません。

文字列グループ G1-G6 を挿入：定位置型バーコードリーダーでバーコードデータを出力する時、文字列グループを 2 つまで挿入できます。1 桁または 2 桁の数字を設定して、挿入する文字列グループを表示させることができます。「文字列設定」セクションおよび「文字列挿入位置設定」セクションを参照できます。例：

Group1→01 または 10 を設定します。Group2 および Group4→24 または 42 を設定します。有効な設定は次のとおりです。00, 01, 02, 03, 04, 05, 06, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 20, 21, 22, 23, 24, 25, 26, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 36, 40, 41, 42, 43, 44, 45, 46, 50, 51,

52, 53, 54, 55, 56, 60, 61, 62, 63, 64, 65 and 66。

バーコード幅補正：有効にすると、異なるスケールのバーとスペースで構成されるバーコードを読み取ることができます。

印刷可能なキャラクターのみを出力：有効にすると、バーコードリーダーは印刷可能なバーコードデータのみを出力します。

デコード最適化機能：有効にすると、定位置型バーコードリーダーはエラー修正アルゴリズムを適用してデコードを最適化します。この機能は、すべてのタイプのバーコードに有効なわけではありません。

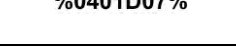
連続スキャンデータ出力遅延：有効にすると、連続スキャンモードで、連続読取中にデータを出力せずに保存することができます。バーコードをスキャンせずに、設定した遅延時間が経過すると、保存されたバーコードデータが出力されるようになります。1度に保存できるデータは合計1000文字までになります。設定時間が00の場合、定位置型バーコードリーダーはデータを保存しません。FFに設定すると、スキャンが停止してからデータが出力されます。

キャラクターエンコーディングシステム：キャラクターエンコーディングシステムとは、特定のレパートリーの各文字をペアにするコードで構成されます。一般的なキャラクターエンコードシステムには、モールスコード、ボードットコード、ASCIIコード、Unicodeコードが含まれます。受信したデータが適切な文字で表示されない場合は、スキャンしたバーコードで採用されているキャラクターエンコードシステムが、ホストデバイスで採用されているものと一致していない可能性があります。データが適切に表示されるように他のオプションを当たってみてください。

次のデコードが開始される前にスキャンデータの出力を完成させる：この設定は、USBデバイスタイプが「HID キーボード」または「Apple Mac をサポートする HID キーボード」の場合に有効です。「[3-4 USB インターフェース](#)」を参照してください。有効になっている場合、定位置型バーコードリーダーは、現在のスキャンデータの出力が完了するまで、次のデコードを開始しません。

スリープモード：リーダーが設定された「スリープモードまでの時間」よりも長くデコードしなかった場合、スリープモードに入ります。スリープモードに入った後、ボタンを押すことでリーダーをウェイクアップできます。注：この機能は、非連続モードと非検知モードでのみ有効です。

スリープモードまでの時間：スリープモードがオンになっていて、リーダーがこの時間よりも長くデコードしていない場合、デバイスはスリープモードに入ります。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
オプションバーコード	オプション	パラメータ値	
手動スキャンモード  %0401M%	シングルのキートリガー	00	 %0401D00%
	トリガーホールド	01	 %0401D01%
	オンオフホールド	02	 %0401D02%
	ホールド	03	 %0401D03%
	シングルのキーホールド	04	 %0401D04%
	画像検知-シングルのキーホールド	06*	 %0401D06%
	画像検知-シングルのキートリガー	07	 %0401D07% *
	赤外線センサー-シングルのキーホールド 1	08	 %0401D08%
	赤外線センサー-シングルのキートリガー	09	 %0401D09%
	赤外線センサー-シングルのキーホールド 2	10	 %0401D10%
バーコード検出  %0604M%	無効	00*	 %0604D00%
	有効	01	 %0604D01%
バーコード検出間隔設定  %0606M%	常に検出	00	 %0606D00%
	5 秒	01	 %0606D01%
	10 秒	02*	 %0606D02% *
	30 秒	03	 %0606D03%
	60 秒	04	 %0606D04%
	検出しない	05	 %0606D05%
スタンバイタイム	4 秒	00*	 %0402D00% *

 %0402M%	8 秒	01	 %0402D01%
	16 秒	02	 %0402D02%
	24 秒	03	 %0402D03%
	30 秒	04	 %0402D04%
	1 分	05	 %0402D05%
	1.5 分	06	 %0402D06%
	2 分	07	 %0402D07%
	5 分	08	 %0402D08%
	7 分	09	 %0402D09%
	10 分	10	 %0402D10%
	15 分	11	 %0402D11%
	20 分	12	 %0402D12%
	30 分	13	 %0402D13%
	45 分	14	 %0402D14%
	1 時間	15	 %0402D15%
同一の 1 次元コードの連	00-FF ₁₆ (50 ミリ秒)	00-FF ₁₆	

続読取間隔設定  %0403M%		00	 %0403H00%
		08*	 %0403H08% *
同一の2次元コードの連 続読取間隔設定  %0415M%	00-FF ₁₆ (50 ミリ秒)	00-FF ₁₆	
		00	 %0415H00%
		08*	 %0415H08% *
ダブルチェック  %0404M%	00-09 (00:なし)	00-09	
		00*	 %0404D00% *
1次元コードの最大コー ド長  %0405M%	04-99	04-99	
		99*	 %0405D99% *
1次元コードの最小コー ド長  %0406M%	01-99	01-99	
		04*	 %0406D04% *
キャラクターグループを グローバルに挿入  %0407M%	00-66	00-66	
		00*	 %0407D00% *
バーコード幅補正  %0408M%	無効	00	 %0408D00%
	有効	01*	 %0408D01% *
デコード最適化機能  %0410M%	無効	00	 %0410D00%
	有効	01*	 %0410D01% *
連続スキャンデータ出力 遅延  %0411M%	00-99 (100 ミリ秒) FF (出力しない)	00-FF ₁₆	
		00*	 %0411H00% *
キャラクターエンコーデ ングシステム  %0413M%	ASCII	00*	 %0413D00% *
	UTF-8	01	 %0413D01%
	Windows-1251	02	 %0413D02%

	簡体字中国語	03	 %0413D03%
	繁体字中国語	04	 %0413D04%
	Windows-1250	05	 %0413D05%
	KOI8R	06	 %0413D06%
	日本語	07	 %0413D07%
次のデコードが開始される前にスキャンデータの出力を完成させる  %0414M%	無効	00*	 %0414D00% *
	有効	01	 %0414D01%
スリープモード  %0416M%	Off	00	 %0416D00%
	On	01*	 %0416D01% *
スリープモードまでの時間  %0412M%	1 秒	00	 %0412D00%
	5 秒	01	 %0412D01%
	10 秒	02	 %0412D02%
	30 秒	03	 %0412D03%
	60 秒 (1 分)	04	 %0412D04%
	300 秒 (5 分)	05*	 %0412D05% *
	600 秒 (10 分)	06	 %0412D06%
	1800 秒 (30 分)	07	 %0412D07%
	3600 秒 (1 時間)	08	 %0412D08%
	10800 秒 (3 時間)	09	 %0412D09%
設定を完了させる  %END%			

3.6 LED インジケータとブザー

電源 ON アラート：電源を ON にして、定位置型バーコードリーダーが正常に起動すれば、アラート信号が生成されます。

LED インジケータ：デコードが成功するたびに LED インジケータが 1 回点滅します。

ブザー：デコードが成功するたびにブザーが 1 回鳴ります。

ブザー音の長さ：このパラメータの設定を変更することにより、ブザー音の長さを調整できます。

ブザー音量：設定を変更することにより、ブザーの音量を調整できます。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
オプションバーコード	オプション	パラメータ値	
電源 ON アラート  %0501M%	無効	00	 %0501D00%
	有効	01*	 %0501D01% *
LED インジケータ  %0502M%	無効	00	 %0502D00%
	有効	01*	 %0502D01% *
ブザー  %0503M%	無効	00	 %0503D00%
	有効	01*	 %0503D01% *
ブザー音の長さ  %0504M%	01-09 (10 ミリ秒)	01-09	
		05*	 %0504D05% *
ブザー音量  %0505M%	低	00	 %0505D00%
	中	01	 %0505D01%
	高	02*	 %0505D02% *
設定を完了させる  %END%			

3.7 スキャン時の照明設定とエイミング設定

照明モード：照明を ON にすると、スキャンしやすくなります。照明の効果は読取対象との距離によって変わります。

エイミング光：エイミングを ON にすると、読取時に、バーコード領域をより速く判別して、読み取ることができます。

照明輝度レベル：照明の明るさは、設定で調整できます。

低照度で照明 ON：周囲の明るさが暗すぎる場合、自動検知機能が動作しなくなる場合があります。この場合、この機能を ON にすることをお勧めします。注：この機能は、自動検知モードでのみ有効です。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
オプションバーコード	オプション	パラメータ値	
照明モード  %9001M%	常にオフ	00	 %9001D00%
	常にオン	01	 %9001D01%
	点滅	02	 %9001D02%
	読取時オン	03*	 %9001D03% *
エイミング光  %9002M%	常にオフ	00	 %9002D00%
	常にオン	01	 %9002D01%
	読取前オン	02	 %9002D02%
	読取時のみオン	03*	 %9002D03% *
照明輝度レベル  %9003M%	デコード照明オフ	00	 %9003D00%
	低輝度	01	 %9003D01%
	中輝度	02*	 %9003D02% *
	高輝度	03	 %9003D03%
低照度で照明 ON  %0605M%	無効	00*	 %0605D00% *
	有効	01	 %0605D01%

設定を完了させる



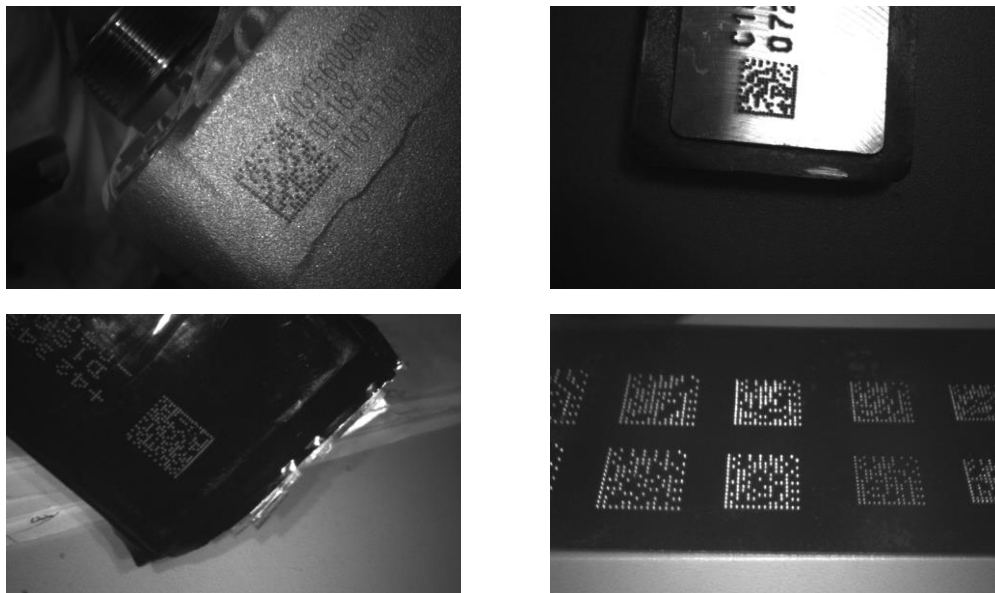
%END%

3.8 DPM コード、複数のシンボル、連結シンボルなどの読取設定

2次元コード読み取り：2次元コード読み取りの一括設定。

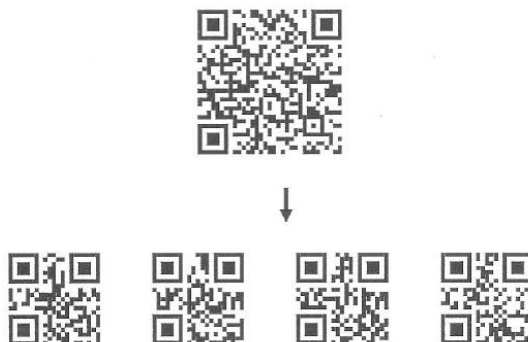
DPM 形式の読み取り：有効にすると、DMP 形式の2D コードが読み取れるようになります。

下記は、DPM コードの例です。



複数のシンボルと連結シンボルの読取:

- 1) 有効にすると、トリガーを1回引くだけで複数のシンボルを読み取ることができます。トリガーを引いたまま、一連のシンボルにリーダーを向けると、各シンボルが1回ずつ読み取られます。また、成功した読取ごとにピープ音が鳴ります。トリガーを引いている間は、リーダーは新しいシンボルを見つけてデコードしようとします。
- 2) 有効にすると、すべての連結シンボルがデコードされた場合のみ、データが出力されます。下図では、連結シンボルの例を示しています。下の4つのコードが連結シンボルであり、これは、上のQRコードと同じデータを持っています。
- 3) この機能を無効にすると、エイミング光に最も近い1つのコードのみが読み取られます。



単一のシンボル（上）と複数の連結シンボル（下）が同じデータ
“ABCDEFGHIJKMNOPQRSTUVWXYZ0123456789ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ”を持
っている。

垂直方向に中央揃え読み取り：有効にすると、定位置型バーコードリーダーは、垂直方向にエイミング光に覆われたコードのみを読み取ります。 水平線上に 2 つのコードがある場合は、それらのいずれか 1 つを読み取ります。 このセクションでは、エイミング光の垂直中心位置補正方法を添付しています。

携帯電話の画面読み取り：有効にすると、携帯電話の画面上のコードが読み取りやすくなります。しかし、この機能を有効にすると、通常のバーコードの読取速度が若干落ち、読取時に照明が点滅する場合があります。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
オプションバーコード	オプション	パラメータ値	
2次元コード読み取り  %1001M%	2D バーコードのそれぞれの設定に従います	00*	 %1001D00% *
	全部 ON	01	 %1001D01%
	全部 OFF	02	 %1001D02%
	PDF417 のみ ON	03	 %1001D03%
	QR code のみ ON	04	 %1001D04%
	Data Matrix のみ ON	05	 %1001D05%
	MaxiCode のみ ON	06	 %1001D06%
	Aztec Code のみ ON	07	 %1001D07%
	Hanxin コードのみ ON	08	 %1001D08%
DPM コードの読み取り  %1002M%	無効	00*	 %1002D00% *
	有効	01	 %1002D01%
複数のシンボルと連結シンボルの読取  %1003M%	同じ画像内の複数コード	00	 %1003D00%
	単一のコード	01*	 %1003D01% *
垂直方向に中央揃え読み取り  %1004M%	無効	00*	 %1004D00% *
	有効	01	 %1004D01%
携帯電話の画面読み取り  %1007M%	無効	00*	 %1007D00% *
	有効	01	 %1007D01%
設定を完了させる			

マルチステップ設定			シングルステップ設定
オプションバーコード	オプション	パラメータ値	
 %END%			

添付 1：エイミング光の垂直中心位置補正方法

- 1) 下記のバーコードをスキャンすると、ブザーが 3 回鳴り、位置補正モードに入ったことを示します。
- 2) 定位置型バーコードリーダーのスキャンウィンドウとこのページ用の紙の間の距離を約 15 cm に保ちながら、リーダーのトリガーボタンを押します。短いビープ音が 3 回鳴ると、位置補正が成功したことを示します。長いビープ音が鳴った場合は、補正が失敗したことを意味します。
- 3) 手順 2) で位置補正が失敗した場合は、手順 1)～2) を繰り返してください。 数回試しても改善されない場合は、販売会社にお問い合わせください。



添付 2 : バーコードスキャンまたはコマンド送信によるアップグレード

バーコードスキャンによるアップグレード	
コマンド送信によるアップグレード	USB 仮想シリアルポートでコマンド「0x16、0x4D、0x0D、0x25、0x4E、0x4D、0x55、0x47、0x44、0x2E」を送信する

添付 3 : チケット発行機能

有効	
無効	

3.9 UPC-A

読取：

フォーマット

1 桁スタートキャラクター	11 桁キャラクター情報	1 桁チェックデジット
---------------	--------------	-------------

チェックデジットの確認：有効にすると、チェックデジットがチェックされます。

チェックデジットの送信：有効にすると、チェックデジットが送信されます。

カスタムコード識別子：このパラメータを変更することにより、異なる 1 桁のカスタムコード識別子を設定できます。ご利用の際は、「[3-39 文字列送信](#)」のコード識別子送信をご参照ください。

文字列グループを挿入：2 桁の値を設定し、UPC-A コードデータを出力するときに挿入される文字列グループを表すために使用されます。「[3-5 スキャンモードと一部のグローバル設定](#)」のグローバル挿入文字列グループを参照ください。

追加コード：追加コードは、追加の 2 桁または 5 桁のキャラクターを指します。

フォーマット

1 桁スタートキャラクター	11 桁キャラクター情報	1 桁チェックデジット	追加の 2 桁または 5 桁のキャラクター
---------------	--------------	-------------	-----------------------

切り捨て/展開：

先行 0 を切り捨て-この機能を選択すると、UPC-A データの先頭の「0」（1 桁または 1 桁以上）が切り捨てられます。

EAN-13 に展開-この機能を選択すると、出力データが 13 桁の EAN-13 コードに拡張されます。

例：バーコード「123456789180」、出力：「0123456789180」。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
オプションバーコード	オプション	パラメータ値	
読み取り  %1101M%	無効	00	 %1101D00%
	有効	01*	 %1101D01% *
チェックデジットの確認  %1102M%	無効	00	 %1102D00%
	有効	01*	 %1102D01% *
チェックデジットの送信  %1103M%	無効	00	 %1103D00%
	有効	01*	 %1103D01% *
カスタムコード識別子  %1104M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00- FF ₁₆	
		<A>*	 %1104H41% *
文字列グループを挿入  %1105M%	00-66	00-66	
		00*	 %1105D00%
追加コード  %1106M%	なし	00*	 %1106D00% *
	2 桁	01	 %1106D01%
	5 桁	02	 %1106D02%
	2 または 5 桁	03	 %1106D03%
切り捨て/展開  %1107M%	なし	00*	 %1107D00% *
	先行 0 を切り捨て	01	 %1107D01%
	EAN-13 に展開	02	 %1107D02%
設定を完了させる  %END%			

3.10 UPC-E

読取：

フォーマット

1 桁先頭の「0」	6 桁キャラクター情報	1 桁チェックデジット
-----------	-------------	-------------

チェックデジットの確認：有効にすると、チェックデジットがチェックされます。

チェックデジットの送信：有効にすると、チェックデジットが送信されます。

カスタムコード識別子：[「3-9 UPC-A」](#) のカスタムコード識別子を参照してください。

文字列グループを挿入：[「3-9 UPC-A」](#) の文字列グループの挿入を参照してください。

追加コード：追加コードは、追加の 2 桁または 5 桁のキャラクターを指します。

フォーマット

1 桁先頭の「0」	6 桁キャラクター情報	1 桁チェックデジット	追加の 2 桁または 5 桁のキャラクター
-----------	-------------	-------------	-----------------------

切り捨て/展開：

先行 0 を切り捨て- [「3-9 UPC-A」](#) の切り捨て/展開を参照してください。

EAN-13 に展開-この機能を選択すると、出力データが 13 桁の EAN-13 コードに拡張されます。

例：バーコード「0123654」、

出力：「0012360000057」。

UPC-A に展開-この機能を選択すると、出力データが 12 桁の UPC-A コードに拡張されます。

例：バーコード「0123654」、

出力：「012360000057」。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
オプションバーコード	オプション	パラメータ値	
読取  %1201M%	無効	00	 %1201D00%
	有効	01*	 %1201D01% *
チェックデジットの確認  %1202M%	無効	00	 %1202D00%
	有効	01*	 %1202D01% *
チェックデジットの送信  %1203M%	無効	00	 %1203D00%
	有効	01*	 %1203D01% *
カスタムコード識別子  %1204M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00-FF ₁₆	
		<D>*	 %1204H44% *
文字列グループを挿入  %1205M%	00-66	00-66	
		00*	 %1205D00% *
追加コード  %1206M%	なし	00*	 %1206D00% *
	2 桁	01	 %1206D01%
	5 桁	02	 %1206D02%
	2 または 5 桁	03	 %1206D03%
切り捨て/展開  %1207M%	なし	00*	 %1207D00% *
	先行 0 を切り捨て	01	 %1207D01%
	EAN-13 に展開	02	 %1207D02%
	UPC-A に展開	03	 %1207D03%
設定を完了させる  %END%			

3.11 UPC-E1

読取：

フォーマット

1 桁先頭の「1」	5 桁キャラクター情報	1 桁チェックデジット
-----------	-------------	-------------

チェックデジットの確認：有効にすると、チェックデジットがチェックされます。

チェックデジットの送信：有効にすると、チェックデジットが送信されます。

カスタムコード識別子：「3-9 UPC-A」のカスタムコード識別子を参照してください。

文字列グループを挿入：「3-9 UPC-A」の文字列グループの挿入を参照してください。

追加コード：

フォーマット

1 桁先頭の「1」	6 桁キャラクター情報	1 桁チェックデジット	追加の 2 桁または 5 桁のキャラクター
-----------	-------------	-------------	-----------------------

切り捨て/展開：

EAN-13 に展開-この機能を選択すると、出力データが 13 桁の EAN-13 コードに拡張されます。

UPC-A に展開-この機能を選択すると、出力データが 12 桁の UPC-A コードに拡張されます。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
オプションバーコード	オプション	パラメータ 値	
読取  %3401M%	無効	00	 %3401D00% *
	有効	01*	 %3401D01%
チェックデジットの確認  %3402M%	無効	00	 %3402D00%
	有効	01*	 %3402D01% *
チェックデジットの送信  %3403M%	無効	00	 %3403D00%
	有効	01*	 %3403D01% *
カスタムコード識別子  %3404M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00-FF ₁₆	
		<D>*	 %3404H44% *
文字列グループを挿入  %3405M%	00-66	00-66	
		00*	 %3405D00% *
追加コード  %3406M%	なし	00*	 %3406D00% *
	2 桁	01	 %3406D01%
	5 桁	02	 %3406D02%
	2 または 5 桁	03	 %3406D03%
切り捨て/展開  %3407M%	なし	00*	 %3407D00% *
	EAN-13 に展開	02	 %3407D02%
	UPC-A に展開	03	 %3407D03%
設定を完了させる  %END%			

3.12 EAN-13 (ISBN/ISSN)

読取：

フォーマット

12 桁キャラクター情報	1 桁チェックデジット
--------------	-------------

チェックデジットの確認：有効にすると、チェックデジットがチェックされます。

チェックデジットの送信：有効にすると、チェックデジットが送信されます。

カスタムコード識別子：[「3-9 UPC-A」](#) のカスタムコード識別子を参照してください。

文字列グループを挿入：[「3-9 UPC-A」](#) の文字列グループの挿入を参照してください。

追加コード：追加コードは、追加の 2 桁または 5 桁のキャラクターを指します。

フォーマット

12 桁キャラクター情報	1 桁チェックデジット	追加の 2 桁または 5 桁のキャラクター
--------------	-------------	-----------------------

ISBN / ISSN 変換：ISBN（国際標準図書番号 International Standard Book Number）および ISSN（国際標準シリアル番号 International Standard Serial Number）は、本や雑誌の識別に使用され、国際的に受け入れられている統一番号を提供します。ISBN は、先行コード "978" の EAN-13 コードを 10 ビット文字データに変換したものです。ISSN は、先行コード "977" の EAN-13 コードを 8 ビット文字データに変換したものです。

例：バーコード「9780194315104」、出力：「019431510X」。

例：バーコード「9771005180004」、出力：「10051805」。

ISBN/ISSN カスタムコード識別子：[「3-9 UPC-A」](#) のカスタムコード識別子を参照してください。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
オプションバーコード	オプション	パラメータ値	
読取  %1301M%	無効	00	 %1301D00%
	有効	01*	 %1301D01% *
チェックデジットの確認  %1302M%	無効	00	 %1302D00%
	有効	01*	 %1302D01% *
チェックデジットの送信  %1303M%	無効	00	 %1303D00%
	有効	01*	 %1303D01% *
カスタムコード識別子  %1304M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00-FF ₁₆	
		<A>*	 %1304H41% *
文字列グループを挿入  %1305M%	00-66	00-66	
		00*	 %1305D00% *
追加コード  %1306M%	なし	00*	 %1306D00% *
	2 桁	01	 %1306D01%
	5 桁	02	 %1306D02%
	2 または 5 桁	03	 %1306D03%
ISBN/ISSN 変換  %1307M%	無効	00*	 %1307D00% *
	有効	01	 %1307D01%
ISBN/ISSN カスタムコード 識別子  %1309M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00-FF ₁₆	
		*	 %1309H42% *
設定を完了させる  %END%			

3.13 EAN-8

読取：

フォーマット

7桁キャラクター情報	1桁チェックデジット
------------	------------

チェックデジットの確認：有効にすると、チェックデジットがチェックされます。

チェックデジットの送信：有効にすると、チェックデジットが送信されます。

カスタムコード識別子：[「3-9 UPC-A」](#) のカスタムコード識別子を参照してください。

文字列グループを挿入：[「3-9 UPC-A」](#) の文字列グループを挿入を参照してください。

追加コード：追加コードは、追加の 2 桁または 5 桁のキャラクターを指します。

フォーマット

7桁キャラクター情報	1桁チェックデジット	追加の 2 桁または 5 桁のキャラクター
------------	------------	-----------------------

切り捨て/展開：[「3-9 UPC-A」](#) の切り捨て/展開を参照してください。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
オプションバーコード	オプション	パラメータ値	
読取  %1401M%	無効	00	 %1401D00%
	有効	01*	 %1401D01% *
チェックデジットの確認  %1402M%	無効	00	 %1402D00%
	有効	01*	 %1402D01% *
チェックデジットの送信  %1403M%	無効	00	 %1403D00%
	有効	01*	 %1403D01% *
カスタムコード識別子  %1404M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00-FF ₁₆	
		<C>*	 %1404H42% *
文字列グループを挿入  %1405M%	00-66	00-66	
		00*	 %1405D00% *
追加コード  %1406M%	なし	00*	 %1406D00% *
	2 桁	01	 %1406D01%
	5 桁	02	 %1406D02%
	2 または 5 桁	03	 %1406D03%
切り捨て/展開  %1407M%	なし	00*	 %1407D00% *
	先行 0 を切り捨て	01	 %1407D01%
	EAN-13 に展開	02	 %1407D02%
設定を完了させる  %END%			

3.14 Code 39 (Code 32, Trioptic Code 39)

読取：

フォーマット

1 桁スタートキャラクター (*)	複数キャラクター情報 (変数)	1 桁チェックデジット (オプション)	1 桁終了キャラクター (*)
-------------------	-----------------	---------------------	-----------------

チェックデジットの確認：有効にすると、チェックデジットがチェックされます。

チェックデジットの送信：有効にすると、チェックデジットが送信されます。

最大/最小コード長：この長さは、読み取られたバーコードのデータキャラクター長の有効範囲を指します。「[3-5 スキャンモードと一部グローバル設定](#)」で、グローバル最大/最小コード長を参照できます。

カスタムコード識別子：「[3-9 UPC-A](#)」のカスタムコード識別子を参照してください。

文字列グループを挿入：「[3-9 UPC-A](#)」の文字列グループを挿入を参照してください。

データ送信フォーマット：

標準—ASCII コードに対応する 1 対 1 のリテラル変換文字を出力します。

完全な ASCII—文字列の組み合わせ後の ASCII コード文字列を出力します。組み合わせ方法：2 文字ごとの ASCII コードを作成します。2 文字は特殊文字 (\$、+、%、/) のうちの 1 つと 26 個のアルファベット (A~Z) のうちの 1 つで構成されます。

スタートキャラクター/エンドキャラクターの送信：Code 39 のスタートキャラクターとエンドキャラクターは「*」です。有効にすると、出力データに 2 つの「*」が含まれます。

「*」はデータとして使用：有効にすると、データに「*」を含めることができます。

Code 39 を Code 32 に変換：Code 32 は Code 39 の変形で、イタリアの製薬業界で使用されています。このオプションを有効にするには、Code 39 のデコードを有効にする必要があることに注意してください。

Code 32 フォーマット

"A" (プレフィックス、オプション)	8 桁の数字情報	チェックデジット
---------------------	----------	----------

Code 32 プレフィックス "A"送信：有効にすると、すべての Code 32 出力の先頭に「A」が付きます。

Trioptic 39Code 読取：Trioptic Code 39 は Code 39 の変形で、磁気テープやコンピュータの消耗品のマーキングに使用されます。Trioptic Code 39 は、1 つの開始文字、6 つのデータ文字、1 つの終了文字を含む固定長コードです。

Trioptic Code 39 フォーマット

1 桁スタートキャラクター (\$)	6 桁の数字情報	1 桁終了キャラクター (\$)
--------------------	----------	------------------

Trioptic Code 39 スタートキャラクター/終了キャラクターの送信：Trioptic Code 39 のスタートキャラクターと終了キャラクターは「\$」です。有効にすると、出力文字データに 2 つの「\$」が含まれます。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
オプションバーコード	オプション	パラメータ 値	
読取  %1501M%	無効	00	 %1501D00%
	有効	01*	 %1501D01% *
チェックデジットの確認  %1502M%	無効	00*	 %1502D00% *
	有効	01	 %1502D01%
チェックデジットの送信  %1503M%	無効	00*	 %1503D00% *
	有効	01	 %1503D01%
最大コード長  %1504M%	00-99	00-99	
		99*	 %1504D99% *
最小コード長  %1505M%	00-99	00-99	
		01*	 %1505D01% *
カスタムコード識別子  %1506M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00-FF ₁₆	
		<M>*	 %1506H4D% *
文字列グループを挿入  %1507M%	00-66	00-66	
		00*	 %1507D00% *
データ送信フォーマット  %1508M%	標準	00*	 %1508D00% *
	完全な ASCII	01	 %1508D01%
スタートキャラクター/終了キ ャクターの送信  %1509M%	無効	00*	 %1509D00% *
	有効	01	 %1509D01%
「*」はデータとして使用  %1510M%	無効	00*	 %1510D00% *
	有効	01	 %1510D01%

Code 39 を Code 32 に変換  %1511M%	無効	00*	 %1511D00% *
	有効	01	 %1511D01%
Code 32 プレフィックス "A" 送信  %1512M%	無効	00*	 %1512D00% *
	有効	01	 %1512D01%
Trioptic 39Code 読取  %1513M%	無効	00*	 %1513D00% *
	有効	01	 %1513D01%
Trioptic 39Code スタートキャラクター/終了キャラクターの 送信  %1514M%	無効	00*	 %1514D00% *
	有効	01	 %1514D01%

設定を完了させる



3.15 Interleaved 2 of 5

読取：

フォーマット

複数桁キャラクター情報 (可変)	1 桁チェックデジット (オプション)
---------------------	---------------------

チェックデジットを確認：有効である場合、チェックデジットを確認します。

チェックデジットを転送：有効である場合、チェックデジットを転送します。

最大/最小コード長：「[3-14 Code 39](#)」の最大/最小コード長をご参照ください。

カスタムコード識別子：「[3-9 UPC-A](#)」のカスタムコード識別子をご参照ください。

文字列グループを挿入：「[3-9 UPC-A](#)」の文字列グループの挿入をご参照ください。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取  %1601M%	無効	00	 %1601D00%
	有効	01*	 %1601D01% *
チェックデジットを確認  %1602M%	無効	00*	 %1602D00% *
	USS	01	 %1602D01%
	OPCC	02	 %1602D02%
チェックデジットを転送  %1603M%	無効	00*	 %1603D00% *
	有効	01	 %1603D01%
最大コード長  %1604M%	00-99	00-99	
		00*	 %1604D00% *
最小コード長  %1605M%	00-99	00-99	
		06*	 %1605D06% *
カスタムコード識別子	00-FF ₁₆	00-FF ₁₆	

 %1606M%	(AS CII)	<I> *	 %1606H49% *
文字列グループを挿入  %1607M%	00- 66	00- 66	
		00*	 %1607D00% *
設定を完了させる  %END%			

3.16 Industrial 2 of 5

読取：

フォーマット

複数桁キャラクター情報（可変）

チェックデジットを転送：有効である場合、チェックデジットを転送します。

最大/最小コード長：「[3-14 Code 39](#)」の最大 / 最小コード長をご参照ください。

カスタムコード識別子：「[3-9 UPC-A](#)」のカスタムコード識別子をご参照ください。

文字列グループを挿入：「[3-9 UPC-A](#)」の文字列グループの挿入をご参照ください。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ 値	
読取  %1701M%	無効	00*	 %1701D00% *
	有効	01	 %1701D01%
最大コード長  %1702M%	00-99	00-99	
		00*	 %1702D00% *
最小コード長  %1703M%	00-99	00-99	
		00*	 %1703D00% *
カスタムコード識別子  %1704M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00-FF ₁₆	
		<H>*	 %1704H48% *
文字列グループを挿入  %1705M%	00-66	00-66	
		00*	 %1705D00% *
設定を完了させる  %END%			

3.17 Matrix 2 of 5

読取：

フォーマット

複数桁キャラクター情報（可変）	1 桁チェックデジット（オプション）
-----------------	--------------------

チェックデジットを確認：有効である場合、チェックデジットを確認します。

チェックデジットを転送：有効である場合、チェックデジットを転送します。

最大/最小コード長：「[3-14 Code 39](#)」の最大/最小ワード長をご参照ください。

カスタムコード識別子：「[3-9 UPC-A](#)」のカスタムコード識別子をご参照ください。

文字列グループを挿入：「[3-9 UPC-A](#)」の文字列グループの挿入をご参照ください。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取 %1801M%	無効	00	 %1801D00%
	有効	01*	 %1801D01% *
チェックデジットを確認 %1802M%	無効	00*	 %1802D00% *
	有効	01	 %1802D01%
チェックデジットを転送 %1803M%	無効	00*	 %1803D00% *
	有効	01	 %1803D01%
最大コード長 %1804M%	00-99	00-99	
		00*	 %1804D00% *
最小コード長 %1805M%	00-99	00-99	
		06*	 %1805D06% *
カスタムコード識別子 %1806M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00-FF ₁₆	
		<X>*	 %1806H58% *
文字列グループを挿入	00-44	00-44	

 %1807M%		00*	 %1807D00% *
設定を完了させる  %END%			

3.18 Codabar

読取：

フォーマット

1桁スタートキャラクター (ABCD)	複数桁キャラクター情報 (可変)	1桁チェックデジット (オプション)	1桁終了キャラクター (ABCDTN*E)
---------------------	------------------	--------------------	-----------------------

チェックデジットを確認：有効である場合、チェックデジットを確認します。

チェックデジットを転送：有効である場合、チェックデジットを転送します。

最大/最小コード長：「[3-14 Code39](#)」の最大/最小コード長をご参照ください。

カスタムコード識別子：「[3-9 UPC-A](#)」のカスタムコード識別子をご参照ください。

文字列グループを挿入：「[3-9 UPC-A](#)」の文字列グループの挿入をご参照ください。

スタートキャラクター/終了キャラクタータイプ：A、B、C、Dはスタートキャラクターと終了キャラクターだけに使えます。任意組み合わせを選択することができます。A、B、C、Dは終了キャラクターに使う場合、T、N、*、Eで置き換えても大丈夫です。

スタートキャラクター/終了キャラクターを転送：有効である場合、出力したデータにスタートキャラクター/終了キャラクターを含みます。

スタートキャラクターは終了キャラクターと同じ：有効である場合、バーコードのスタートキャラクターと終了キャラクターは一致である場合だけに有効です。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取  %1901M%	無効	00	 %1901D00%
	有効	01*	 %1901D01% *
チェックデジットを確認  %1902M%	無効	00*	 %1902D00% *
	有効	01	 %1902D01%
チェックデジットを転送  %1903M%	無効	00*	 %1903D00% *
	有効	01	 %1903D01%
最大コード長  %1904M%	00-99	00-99	
		00*	 %1904D00% *

最小コード長  %1905M%	00-99	00-99	
		00*	 %1905D00% *
カスタムコード識別子  %1906M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00- FF ₁₆	
		<N>*	 %1906H4E% *
文字列グループを挿入  %1907M%	00-66	00-66	
		00*	 %1907D00% *
スタートキャラクター/終了 キャラクタータイプ  %1908M%	ABCD/ABCD	00*	 %1908D00% *
	abcd/abcd	01	 %1908D01%
	ABCD/TN*E	02	 %1908D02%
	abcd/tn*e	03	 %1908D03%
スタートキャラクター/終了 キャラクターを転送  %1909M%	無効	00*	 %1909D00% *
	有効	01	 %1909D01%
スタートキャラクターと終 了キャラクター同じ  %1910M%	無効	00*	 %1910D00% *
	有効	01	 %1910D01%
設定を完了させる  %END%			

3.19 Code 128

読取：

フォーマット

複数桁のキャラクター 情報（可変）	1 桁チェックデ ジット
----------------------	-----------------

チェックデジットを確認：有効である場合、チェックデジットを確認します。

チェックデジットを転送：有効である場合、チェックデジットを転送します。

最大/最小コード長：[「3-14 Code 39」](#)の最大/最小コード長をご参照ください。

カスタムコード識別子：[「3-9 UPC-A」](#)のカスタムコード識別子をご参照ください。

文字列グループを挿入：[「3-9 UPC-A」](#)の文字列グループの挿入をご参照ください。

先頭の 0 を切り捨て：有効である場合、Code 128 データ先頭の 0 は切り捨てされます。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取  %2001M%	無効	00	 %2001D00%
	有効	01*	 %2001D01%*
チェックデジットを確認  %2002M%	無効	00	 %2002D00%
	有効	01*	 %2002D01%*
チェックデジットを転送  %2003M%	無効	00*	 %2003D00%*
	保留	01	 %2003D01%
最大コード長  %2004M%	00-99	00-99	
		00*	 %2004D00%*
最小コード長  %2005M%	00-99	00-99	
		01*	 %2005D01%*
カスタムコード識別子  %2006M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00- FF ₁₆	
		<K>*	 %2006H4B%*
文字列グループを挿入  %2007M%	00-66	00-66	
		00*	 %2007D00%*
先頭の 0 を切り捨て  %2008M%	無効	00*	 %2008D00%*
	先頭に全ての 0	01	 %2008D01%
	一番目の 0	02	 %2008D02%
設定を完了させる  %END%			

3.20 ISBT 128

読取:

フォーマット

「=」 また は「&」	複数桁のキャラクター情 報（可変）	チェックデジット （オプション）
----------------	----------------------	---------------------

チェックデジットを確認：有効である場合、チェックデジットを確認します。

チェックデジットを転送：有効である場合、チェックデジットを転送します。

最大/最小コード長：「[3-14 39 碼](#)」の最大/最小コード長をご参照ください。

カスタムコード識別子：「[3-9 UPC-A](#)」のカスタムコード識別子をご参照ください。

文字列グループを挿入：「[3-9 UPC-A](#)」の文字列グループの挿入をご参照ください。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ 値	
読取  %3301M%	無効	00	 %3301D00%
	有効	01*	 %3301D01% *
チェックデジットを確認  %3302M%	無効	00	 %3302D00%
	有効	01*	 %3302D01% *
チェックデジットを転送  %3303M%	無効	00*	 %3303D00% *
	保留	01	 %3303D01%
最大コード長  %3304M%	00-99	00-99	
		00*	 %3304D00% *
最小コード長  %3305M%	00-99	00-99	
		01*	 %3305D01% *
カスタムコード識別子  %3306M%	00- FF ₁₆ (ASCII)	00- FF ₁₆	
		<K> *	 %3306H4B% *
文字列グループを挿入	00-66	00-66	

 %3307M%		00*	 %3307D00% *
設定を完了させる  %END%			

3.21 Code 93

読取：

フォーマット

複数桁のキャラクター 情報（可変）	2 桁チェック デジット
----------------------	-----------------

チェックデジットを確認：有効である場合、チェックデジットを確認します。

チェックデジットを転送：有効である場合、チェックデジットを転送します。

最大/最小コード長：「[3-14 Code 39](#)」の最大/最小コード長をご参照ください。

カスタムコード識別子：「[3-9 UPC-A](#)」のカスタムコード識別子をご参照ください。

文字列グループを挿入：「[3-9 UPC-A](#)」の文字列グループの挿入をご参照ください。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	参パラメータ値	
読取  %2101M%	無効	00	 %2101D00%
	有効	01*	 %2101D01%*
チェックデジットを確認  %2102M%	無効	00	 %2102D00%
	有効	01*	 %2102D01%*
チェックデジットを転送  %2103M%	無効	00*	 %2103D00%*
	有効	01	 %2103D01%
最大コード長  %2104M%	00-99	00-99	
		00*	 %2104D00%*
最小コード長  %2105M%	00-99	00-99	
		01*	 %2105D01%*
カスタムコード識別子  %2106M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00-FF ₁₆	
		<L>*	 %2106H4C%*
文字列グループを挿入	00-66	00-66	

 %2107M%		00*	 %2107D00% *
設定を完了させる  %END%			

3.22 Code 11

読取：

フォーマット

複数桁のキャラクター 情報（可変）	1 桁または 2 桁チェックデ ジット（オプション）
----------------------	-------------------------------

チェックデジットを確認：有効である場合、チェックデジットを確認します。

チェックデジットを転送：有効である場合、チェックデジットを転送します。

最大/最小コード長：「[3-14 Code 39](#)」の最大/最小コード長をご参照ください。

カスタムコード識別子：「[3-9 UPC-A](#)」のカスタムコード識別子をご参照ください。

文字列グループを挿入：「[3-9 UPC-A](#)」の文字列グループの挿入をご参照ください。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取  %2201M%	無効	00*	 %2201D00% *
	有効	01	 %2201D01%
チェックデジットを確認  %2202M%	無効	00	 %2202D00%
	1 桁	01*	 %2202D01% *
	保留	02	 %2202D02%
	保留	03	 %2202D03%
チェックデジットを転送  %2203M%	無効	00*	 %2203D00% *
	有効	01	 %2203D01%
最大コード長  %2204M%	00-99	00-99	
		00*	 %2204D00% *
最小コード長  %2205M%	00-99	00-99	
		00*	 %2205D00% *
カスタムコード識別子  %2206M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00-FF ₁₆	
		<V>*	 %2206H56% *
文字列グループを挿入  %2207M%	00-66	00-66	
		00*	 %2207D00% *
設定を完了させる  %END%			

3.23 MSI/Plessey

読取：

フォーマット

複数桁のキャラクター情報（可変）	1 桁または 2 桁チェックデジット（オプション）
------------------	---------------------------

チェックデジットを確認： MSI/Plessey は 1 桁または 2 桁チェックデジットオプションがあり、三つのチェックデジットモードがあります。「Mod10、Mod10/10、Mod11/10」

チェックデジットを転送： 有効である場合、チェックデジットを転送します。

最大/最小コード長： 「[3-14 Code 39](#)」の最大/最小コード長をご参照ください。

カスタムコード識別子： 「[3-9 UPC-A](#)」のカスタムコード識別子をご参照ください。

文字列グループを挿入： 「[3-9 UPC-A](#)」の文字列グループの挿入をご参照ください。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取  %2301M%	無効	00*	 %2301D00% *
	有効	01	 %2301D01%
チェックデジットを確認  %2302M%	無効	00*	 %2302D00% *
	1桁 (mod 10)	01	 %2302D01%
	保留	02	 %2302D02%
	保留	03	 %2302D03%
チェックデジットを転送  %2303M%	無効	00*	 %2303D00% *
	有効	01	 %2303D01%
最大コード長  %2304M%	00-99	00-99	
		00*	 %2304D00% *
最小コード長  %2305M%	00-99	00-99	
		00*	 %2305D00% *
カスタムコード識別子  %2306M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00-FF ₁₆	
		<O>*	 %2306H4F% *
文字列グループを挿入  %2307M%	00-66	00-66	
		00*	 %2307D00% *
設定を完了させる  %END%			

3.24 UK/Plessey

読取：

フォーマット

複数桁のキャラクター 情報（可変）	2 桁チェック デジット
----------------------	-----------------

チェックデジットを確認：UK/Plessey は 2 桁チェックデジットがあります。チェックデジットはサイクルチェックコードを使用します。（Cyclic Check Code、略称は CRC）。

チェックデジットを転送：有効である場合、チェックデジットを転送します。

最大/最小コード長：「[3-14 Code 39](#)」の最大/最小コード長をご参照ください。

カスタムコード識別子：「[3-9 UPC-A](#)」のカスタムコード識別子をご参照ください。

文字列グループを挿入：「[3-9 UPC-A](#)」の文字列グループの挿入をご参照ください。

マルチステップ設定			シングルステップ
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取  %2401M%	無効	00*	 %2401D00%*
	有効	01	 %2401D01%
チェックデジットを確認  %2402M%	無効	00	 %2402D00%
	有効	01*	 %2402D01%*
チェックデジットを転送  %2403M%	無効	00*	 %2403D00%*
	有効	01	 %2403D01%
最大コード長  %2404M%	00-99	00-99	
		00*	 %2404D00%*
最小コード長  %2405M%	00-99	00-99	
		01*	 %2405D01%*
カスタムコード識別子  %2406M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00-FF ₁₆	
		<U>*	 %2406H55%*

文字列グループを挿入  %2407M%	00-66	00-66	
		00*	 %2407D00% *
設定を完了させる  %END%			

3.25 UCC/EAN 128

読取：

フォーマット

複数桁のキャラクター 情報（可変）	1 桁チェック デジット
----------------------	-----------------

チェックデジットを確認：有効である場合、チェックデジットを確認します。。

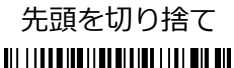
チェックデジットを転送：有効である場合、チェックデジットを転送します。

最大/最小コード長：[「3-14 Code 39」](#)の最大/最小コード長をご参照ください。

カスタムコード識別子：[「3-9 UPC-A」](#)のカスタムコード識別子をご参照ください。

文字列グループを挿入：[「3-9 UPC-A」](#)の文字列グループの挿入をご参照ください。

先頭の 0 を切り捨て：有効である場合、Code 128 データ先頭の 0 は切り捨てられます。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取  %2501M%	無効	00	 %2501D00%
	有効	01*	 %2501D01% *
チェックデジットを確認  %2502M%	無効	00	 %2502D00%
	有効	01*	 %2502D01% *
チェックデジットを転送  %2503M%	無効	00*	 %2503D00% *
	保留	01	 %2503D01%
最大コード長  %2504M%	00-99	00-99	
		00*	 %2504D00% *
最小コード長  %2505M%	00-99	00-99	
		01*	 %2505D01% *
カスタムコード識別子  %2506M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00-FF ₁₆	
		<K>*	 %2506H4B% *
文字列グループを挿入  %2507M%	00-66	00-66	
		00*	 %2507D00% *
先頭を切り捨て  %2508M%	無効	00*	 %2508D00% *
	先頭の全て 0	01	 %2508D01%
	1 番目の 0	02	 %2508D02%
設定を完了させる  %END%			

3.26 China Post

読取：

フォーマット

11 桁キャラ
クター情報

最大/最小コード長：「[3-14 Code 39](#)」の最大/最小コード長をご参照ください。China Post バーコードの長さは 11 桁となります。

カスタムコード識別子：「[3-9 UPC-A](#)」のカスタムコード識別子をご参照ください。

文字列グループを挿入：「[3-9 UPC-A](#)」の文字列グループの挿入をご参照ください。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取  %2601M%	無効	00	 %2601D00%
	有効	01*	 %2601D01% *
最大コード長  %2604M%	00-99	00-99	
		11*	 %2604D11% *
最小コード長  %2605M%	00-99	00-99	
		11*	 %2605D11% *
カスタムコード識別子  %2606M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00-FF ₁₆	
		<T>*	 %2606H54% *
文字列グループを挿入  %2607M%	00-66	00-66	
		00*	 %2607D00% *
設定を完了させる  %END%			

3.27 GS1 DataBar (GS1 DataBar Truncated)

GS1 DataBar Truncated バーコードの構造とエンコード方式は GS1 DataBar と全く同じです。ただ GS1 DataBar Truncated バーコードの最小高さが 13 モジュール、GS1 DataBar バーコードの高さが 33 モジュール以上となっています。

読取：

フォーマット

16 桁キャラ
クター情報

カスタムコード識別子：「[3-9 UPC-A](#)」のカスタムコード識別子をご参照ください。

文字列グループを挿入：「[3-9 UPC-A](#)」の文字列グループの挿入をご参照ください。

コードを変換：

UCC/EAN 128- 「[3-39 文字列転送](#)」の Code ID 転送をご参照ください。

転換した後、AIM ID は]Cm に定義されます。

UPC-A または EAN-13- スタートキャラクターは「010」、次のキャラクターは 1 桁の「0」のバーコードは「EAN-13」に転換されます。スタートキャラクターは「0100」、次のキャラクターは 2 桁または複数桁の「0」のバーコード（6 桁の 0 ではない場合）は「UPC-A」に転換されます。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取  %2701M%	無効	00	 %2701D00%
	有効	01*	 %2701D01% *
カスタムコード識別子  %2702M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00-FF ₁₆	
		<R>*	 %2702H52% *
文字列グループを挿入  %2703M%	00-66	00-66	
		00*	 %2703D00% *
コードを転換  %2704M%	なし	00*	 %2704D00% *
	UCC/EAN 128	01	 %2704D01%
	UPC-A または EAN-	02	 %2704D02%

	13		
設定を完了させる			
			
%END%			

3.28 GS1 DataBar Limited

読取：

フォーマット

16 桁キャラクタ
ター情報

カスタムコード識別子：「[3-9 UPC-A](#)」のカスタムコード識別子をご参照ください。

文字列グループを挿入：「[3-9 UPC-A](#)」の文字列グループの挿入をご参照ください。

コードを転換：「[3-27 GS1 DataBar \(GS1 DataBar Truncated\)](#)」コードを転換 をご参照ください。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取  %2801M%	無効	00	 %2801D00%
	有効	01*	 %2801D01%*
カスタムコード識別子  %2802M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00-FF ₁₆	
		<R>*	 %2802H52%*
文字列グループを挿入  %2803M%	00-66	00-66	
		00*	 %2803D00%*
コードを転換  %2804M%	なし	00*	 %2804D00%*
	UCC/EAN 128	01	 %2804D01%
	UPC-A または EAN-13	02	 %2804D02%
設定を完了させる  %END%			

3.29 GS1 DataBar Expanded

読取：

フォーマット

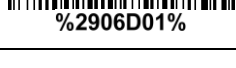
複数桁キャラクター情報
(可変)

カスタムコード識別子：「[3-9 UPC-A](#)」カスタムコード識別子をご参照ください。

文字列グループを挿入：「[3-9 UPC-A](#)」の文字列グループの挿入をご参照ください。

コードを転換：

UCC/EAN 128- 「[3-39 文字列転送](#)」のコード ID の転送をご参照ください。転換した後、AIM ID は]Cm に定義されます。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取  %2901M%	無効	00	 %2901D00%
	有効	01*	 %2901D01% *
最大コード長  %2902M%	00-99	00-99	
		00*	 %2902D00% *
最小コード長  %2903M%	00-99	00-99	
		01*	 %2903D01% *
カスタムコード識別子  %2904M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00-FF ₁₆	
		<R>*	 %2904H52% *
文字列グループを挿入  %2905M%	00-66	00-66	
		00*	 %2905D00% *
コードを転換  %2906M%	なし	00*	 %2906D00% *
	UCC/EAN 128	01	 %2906D01%
設定を完了させる  %END%			

3.30 China Finance

注意：Omni-directionally デコードをサポートしません。

原因：1、スタートキャラクター/終了キャラクターがありません。2、エンコード可能なキャラクターセットには数字 0～9 が含まれています。その中に 0 と 2、4 と 9、5 と 8、6 と 7 は対称的なパターンを持ち、1 と 3 のバーコードパターンは自己対称的になります。

読取

フォーマット

10 桁キャラクター情報

最大/最小コード長：「[3-14 Code 39](#)」の最大/最小コード長をご参照ください。

チェックデジットを確認：有効である場合、チェックデジットを確認します。

先頭のキャラクター5/6/7/8/9をA/B/C/D/Eに転換：有効である場合、先頭のキャラクターは5/6/7/8/9の場合、出力した文字列はA/B/C/D/Eに転換します。

先頭のキャラクターを指定：有効である場合、先頭のキャラクターと指定した先頭のキャラクターが一致するバーコードしか出力できません。

カスタムコード識別子：「[3-9 UPC-A](#)」のカスタムコード識別子をご参照ください。

文字列グループを挿入：「[3-9 UPC-A](#)」の文字列グループを挿入をご参照ください。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取  %3201M%	無効	00*	 %3201D00% *
	有効	01	 %3201D01%
最大コード長  %3202M%	00-99	00-99	
		10*	 %3202D10% *
最小コード長  %3203M%	00-99	00-99	
		10*	 %3203D10% *
チェックデジットを確認  %3204M%	無効	00*	 %3204D00% *
	保留	01	 %3204D01%

先頭キャラクター5/6/7/8/9 を A/B/C/D/E に転換  %3205M%	無効	00	 %3205D00%
	有効	01*	 %3205D01% *
	5 を A に転換	02	 %3205D02%
	6 を B に転換	03	 %3205D03%
	7 を C に転換	04	 %3205D04%
	8 を D に転換	05	 %3205D05%
	9 を E に転換	06	 %3205D06%
先頭キャラクターを指定  %3206M%	無効	00	 %3206D00%
	0 に指定	01*	 %3206D01% *
	5 (A) に指定	02	 %3206D02%
	6 (B) に指定	03	 %3206D03%
	7 (C) に指定	04	 %3206D04%
	8 (D) に指定	05	 %3206D05%
	9 (E) に指定	06	 %3206D06%
	1 に指定	07	 %3206D07%
	2 に指定	08	 %3206D08%
	3 に指定	09	 %3206D09%
	4 に指定	10	 %3206D10%
カスタムコード識別子  %3207M%	00-FF ₁₆ (ASCII)	00-FF ₁₆	
		<Y>*	 %3207H59% *
文字列グループを挿入  %3208M%	00-66	00-66	
		00*	 %3208D00% *

設定を完了させる



3.31 PDF417

読取：

フォーマット

複数桁キャラクター情報
(可変)

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取  %3001M%	無効	00	 %3001D00%
	有効	01*	 %3001D01%*
設定を完了させる  %END%			

3.32 MicroPDF417

読取：

フォーマット

複数桁キャラクター情報
(可変)

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取  %3101M%	無効	00*	 %3101D00% *
	有効	01	 %3101D01%
設定を完了させる  %END%			

3.33 QR Code

読取:

フォーマット

複数桁のキャラクター情報（可変）

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取  %4001M%	無効	00	 %4001D00%
	有効	01*	 %4001D01%*
設定を完了させる  %END%			

3.34 Data Matrix

読取:

フォーマット

複数桁キャラクター情報
(可変)

マルチステップ設定			シングルステップ
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取  %4101M%	無効	00	 %4101D00%
	有効	01*	 %4101D01% *
設定を完了させる  %END%			

3.35 Han Xin Code

読取:

フォーマット

複数桁キャラクター情報
(可変)

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取  %4201M%	無効	00*	 %4201D00% *
	有効	01	 %4201D01%
設定を完了させる  %END%			

3.36 Aztec Code

読取:

フォーマット

複数桁キャラクター情報
(可変)

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
読取  %4301M%	無効	00*	 %4301D00%*
	有効	01	 %4301D01%
設定を完了させる  %END%			

3.37 G1-G6、C1-C3、FN1 文字列を置換えの設定

バーコードデータ転送のフォーマット：

プリフィックス	コード名	プリアンブル	Code ID	コードの長さ	コードデータ	Code ID	ポストアンブル	サフィックス
---------	------	--------	---------	--------	--------	---------	---------	--------

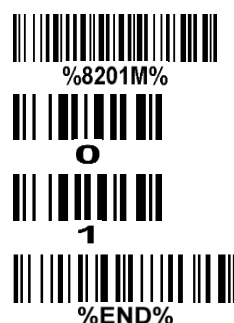
プリフィックス/サフィックス/プリアンブル/ポストアンブル文字列の設定：

データを出力した際に、上記の文字列がデータに追加されます。

例：シンボル「\$」をプリフィックスに設定します。

手順：

- 1) ASCII リストに「\$」の 16 進数パラメータ「\$→24」を探します。
- 2) バーコードオプションのプリフィックス文字列設定をスキャンします。
- 3) 最後ページのバーコード 2 と 4 をスキャンします。
- 4) 「設定を完了させる」バーコードをスキャンします。
- 5) 「3-42 文字列転送」を参照して、プリフィックス文字列転送を有効に設定します。



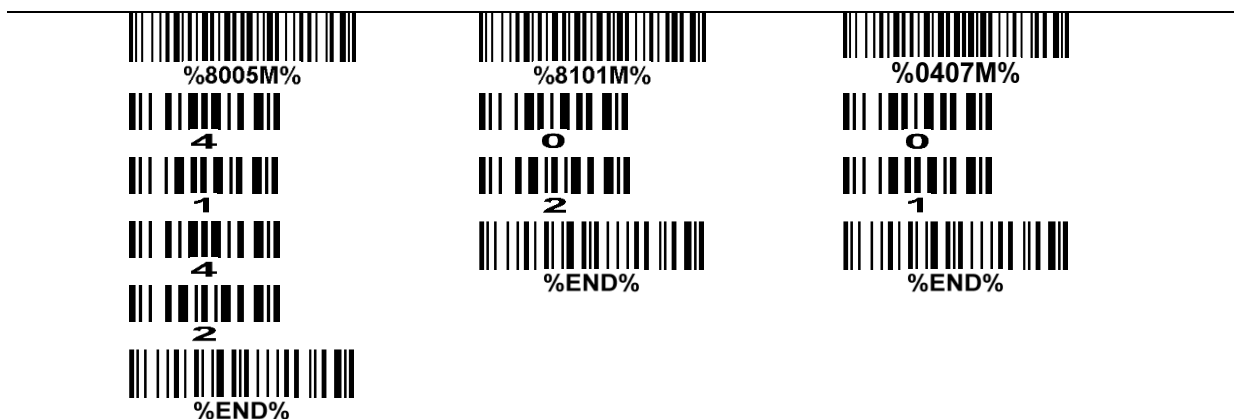
文字列 G1/G2/G3/G4 の挿入設定： 定位置型バーコードリーダーはデータ文字列に挿入できる四つのキャラクターを提供しています。

例：文字列グループ G1 を AB に設定

元のコードデータ	1 2 3 4 5 6
文字列グループを挿入後	1 2 A B 3 4 5 6

手順：

- 1) ASCII リストに、「A→41」、「B→42」を探します。
- 2) 「設定開始バーコード」をスキャンします。
- 3) 「文字列グループ G1 の設定」バーコードをスキャンします。
- 4) 最終ページのバーコード 4、1、4、2 をスキャンします。
- 5) 「設定を完了させる」バーコードをスキャンします。
- 6) 文字列グループの挿入は「[3-38 G1 – G4 文字列挿入位置と Code ID 位置](#)」と「[3-5 スキャンモードと一部のグローバル設定](#)」をご参照ください。



テストバーコード：



FN1 文字列置き換え設定：UCC/EAN128、code 128 または GS1 DataBar バーコードに FN1 (0x1D) キャラクターが使われます。設定によって、FN1 を任意文字列に置き換えることができます。文字列の長さは 1～4 に設定できます。

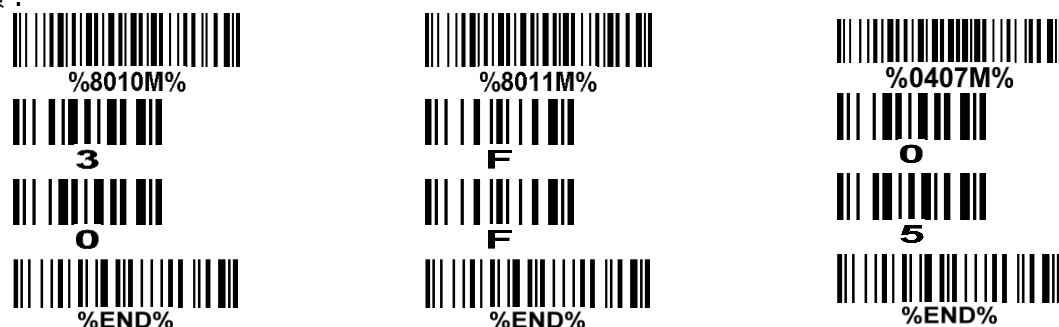
先頭文字列 G5 を切り捨てる設定：設定によって、指定した先頭のキャラクターまたは文字列を切り捨てることができます。シングルキャラクターの場合、指定しなくても操作できます。

シングルキャラクターG5 の重複：G5 は指定・非指定シングルキャラクターに設定した場合、G5 は繰り返し可能なものとして設定できます。設定した削除キャラクターの桁数がバーコードの桁数を超えた場合、この設定は無視されます。「先頭文字列 G5 を切り捨て」の設定が「00」の場合、本項の「FF」設定は無効になります。

例：全ての先頭の 0 を切り捨てます。

元のコードデータ	0 0 0 1 2 3 4 5 6
アウトプットデータ	1 2 3 4 5 6

手順：



テストバーコード：



末尾文字列 G6 を切り捨てる設定：設定によって、指定した末尾のキャラクターまたは文字列を切り捨てることができます。シングルキャラクターの場合、指定しなくても操作できます。

シングルキャラクターG6 の重複：G6 は指定・非指定のシングルキャラクターに設定された場合、G6 は繰り返し可能なものとして設定できます。設定した削除キャラクターの桁数がバーコー

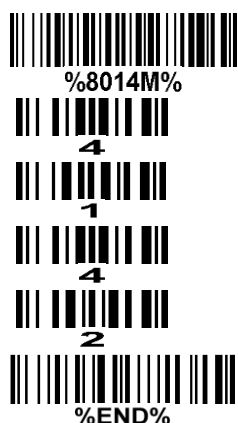
ドの桁数を超えた場合、この設定は無視されます。「末尾文字列 G6 を切り捨て」の設定が「00」の場合、本項の「FF」設定は無効になります。。

シングルキャラクターC1/C2 の置換え: 設定によって、文字列にある特定のキャラクターを別のキャラクターに置き換えることができます。C1 と C2 キャラクターの置換えは同時に行われます。

例：文字列にある全ての「A」を「B」に置換えます。

元データ	1 2 3 A 5 A
アウトプットデータ	1 2 3 B 5 B

手順：ASCII リストに「A→41, B→42」を探して、以下のバーコードをスキャンします。



テストバーコード：

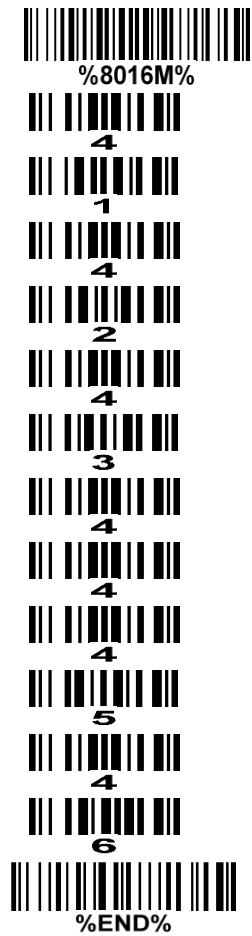


複数桁のキャラクターC3 の置換え: 設定によって、文字列の複数のキャラクター（最大 11 個）を別のキャラクターに置換えることができます。

例：文字列にある全てのキャラクター「A」を「B」に置換え、全ての「C」を「D」に置換え、「E」を「F」に置換えます。

元のコードデータ	1 2 3 A 4 C 5 6 E 7 8
アウトプットデータ	1 2 3 B 4 D 5 6 F 7 8

手順：ASCII リストから「A→41」、「B→42」、「C→43」、「D→44」、「E→45」、
「F→46」を探し、順次で以下のバーコードをスキャンします。



テストバーコード：



マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
プリフィックス文字列を設定  %8001M%	0-22 桁のキャラクター	00-FF ₁₆	
	なし	00*	 %8001H00% *
サフィックス文字列を設定  %8002M%	0-22 桁のキャラクター	00-FF ₁₆	
	<ENTER>	0D0A*	
前文文字列を設定  %8003M%	0-22 桁のキャラクター	00-FF ₁₆	
	なし	00*	 %8003H00% *
ポストアンブル文字列を設定  %8004M%	0-22 桁のキャラクター	00-FF ₁₆	
	なし	00*	 %8004H00% *
文字列 G1 を挿入する設定  %8005M%	0-22 桁のキャラクター	00-FF ₁₆	
	なし	00*	 %8005H00% *
文字列 G2 を挿入する設定  %8006M%	0-22 桁のキャラクター	00-FF ₁₆	
	なし	00*	 %8006H00% *
文字列 G3 を挿入する設定  %8007M%	0-22 桁のキャラクター	00-FF ₁₆	
	なし	00*	 %8007H00% *
文字列 G4 を挿入する設定  %8008M%	0-22 桁のキャラクター	00-FF ₁₆	
	なし	00*	 %8008H00% *
FN1 文字列置き換え設定  %8009M%	0-4 桁のキャラクター	00-FF ₁₆	
	<SP>	20*	 %8009H20% *
先頭の文字列 G5 を切り捨てる設定	ランダム of シングルキャラクター	00	 %8010H00%

 %8010M%	1-22 桁特定のキャラクタ —	01-7F ₁₆	
	<0>	30*	 %8010H30% *
シングルキャラクター G5 の重複  %8011M%	一回	01*	 %8011H01% *
	回数を指定	01-22	
	回数を指定しない（全て）	FF	 %8011HFF%
末尾文字列 G6 を切り 捨てる設定  %8012M%	ランダム of シングルキャラクタ	00	 %8012H00%
	1-22 桁特定のキャラクタ —	01-7F ₁₆	
	<0>	30*	 %8012H30% *
シングルキャラクター G6 の重複  %8013M%	一回	01*	 %8013H01% *
	回数を指定	01-22	
	回数を指定しない（全て）	FF	 %8013HFF%
シングルキャラクター C1 の置換え  %8014M%	<0000>	0000*	
		0000-FFFF ₁₆	
シングルキャラクター C2 の置換え  %8015M%	<0000>	0000*	
		0000-FFFF ₁₆	
複数のキャラクター C3 の置換え  %8016M%	-	0000*	
		-	
設定を完了させる  %END%			

3.38 G1-G4 文字列位置と Code ID 位置

バーコードデータ転送のフォーマット：

プリフィックス	コード名	プリアンブル	Code ID	コードの長さ	コードデータ	Code ID	ポストアンブル	サフィックス
---------	------	--------	---------	--------	--------	---------	---------	--------

G1/G2/G3/G4 文字列の挿入位置： データに四つまでの文字列を挿入できます。それに対応する挿入位置も 4 つあります。「00」はデフォルト設定で、挿入位置を指定していないことを意味します。設定した挿入位置がデータの長さを超えた場合、挿入位置の設定が無効になります。

Code ID 位置： Code ID の位置の選択肢が 2 つあります。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
文字列グループ G1 の挿入位置  %8101M%	00-99	00-99	
		00*	 %8101D00% *
文字列グループ G2 の挿入位置  %8102M%	00-99	00-99	
		00*	 %8102D00% *
文字列グループ G3 の挿入位置  %8103M%	00-99	00-99	
		00*	 %8103D00% *
文字列グループ G4 の挿入位置  %8104M%	00-99	00-99	
		00*	 %8104D00% *
Code ID の位置  %8105M%	コードデータの前	00*	 %8105D00% *
	コードデータの後	01	 %8105D01%
設定を完了させる  %END%			

3.39 文字列転送

バーコードデータ転送のフォーマット：

プリフィックス	コード名	プレアンプル	Code ID	コードの長さ	コードデータ	Code ID	ポストアンブル	サフィックス
---------	------	--------	---------	--------	--------	---------	---------	--------

プリフィックスを転送：有効である場合、プリフィックスはコードの前に追加されます。

サフィックスを転送：有効である場合、サフィックスはデータの最後に追加されます。

コード名を転送：有効である場合、バーコード名、例えば、EAN-13、code 39 等、データの前に追加されます。

Code ID を転送：Code ID の転送を選択した場合、カスタム Code ID または AIM ID を選択することができます。詳細は「[1-2 バーコードプリセットパラメータ](#)」をご参照ください。

前文を転送：有効である場合、前文はデータの前に追加されます。

ポストアンブル転送：有効である場合、ポストアンブルはデータの最後に追加されます。

コードの長さを転送：有効である場合、コードの長さはデータの前に追加されます。データ文字列の長さは、デコードされたデータの前に送信できます。長さは 2 桁の数字で表示されます。

大・小文字転換：設定によって、キャラクターを大・小文字に転換することができます。

FN1 置換えの転送：定位置型バーコードリーダーはキーボード、USB インタフェースに対して FN1 置換え機能をサポートしています。FN1 置換えの設定は「[3-37 G1-G6、C1-C3 と FN1 文字列置換えの設定](#)」をご参照ください。

文字列設定による全印刷不可文字列の送信：有効である場合、文字列の設定（例：サフィックス文字列転送、文字列グループ G1 の設定）は、全印刷不可キャラクターで構成された文字列に対して有効になります。全印刷不可キャラクターは 0x00 から 0x1F までの ASCII 値を持つ文字を意味します。

先頭の N キャラクターを転送：定位置型バーコードリーダーは文字列先頭の N キャラクターだけを転送することをサポートしています。N の範囲は 1-99 です。

最後の N キャラクターを転送：定位置型バーコードリーダーは文字列最後の N キャラクターだけを転送することをサポートしています。N の範囲は 1-99 です。

マルチステップ設定			シングルステップ設定
バーコードオプション	オプション	パラメータ値	
プリフィックス文字列を 転送  %8201M%	無効	00*	 %8201D00% *
	有効	01	 %8201D01%
サフィックス文字列を転 送  %8202M%	無効	00	 %8202D00%
	有効	01*	 %8202D01% *

バーコード名を転送  %8203M%	無効	00*	 %8203D00% *
	有効	01	 %8203D01%
前文文字列を転送  %8204M%	無効	00*	 %8204D00% *
	有効	01	 %8204D01%
ポストアンブル文字列を 転送  %8205M%	無効	00*	 %8205D00% *
	有効	01	 %8205D01%
Code ID を転送  %8206M%	無効	00*	 %8206D00% *
	Proprietary ID	01	 %8206D01%
	AIM ID	02	 %8206D02%
データ長さを転送  %8207M%	無効	00*	 %8207D00% *
	有効	01	 %8207D01%
大小文字を転換  %8208M%	無効	00*	 %8208D00% *
	大文字（バーコードデータのみ）	01	 %8208D01%
	小文字（バーコードデータのみ）	02	 %8208D02%
	大文字（全体文字列）	03	 %8208D03%
	小文字（全体文字列）	04	 %8208D04%
FN1 置換えの転送  %8209M%	無効	00*	 %8209D00% *
	キーボード/USB	01	 %8209D01%
文字列設定による全印刷 不可文字列の送信  %8210M%	無効	00*	 %8210D00% *
	有効	01	 %8210D01%
先頭の N キャラクターを 転送  %8211M%	01-99	01-99	
	全て	99*	 %8211D99%

最後の N キャラクターを 転送  %8212M%	01-99	01-99	
	全て	99*	 %8212D99% *

設定を完了させる

 %END%

4 その他の設定

4.1 共通設定

No.	機能	説明	設定バーコード
1	音声アナウンスを ON にする	定位置型バーコードリーダーはバーコードをスキャンした後、音声を流します。	 %9201D01%
2	音声アナウンスを OFF にする	定位置型バーコードリーダーは通常のバーコードスキャンした後、音声を流しません。	 %9201D00%
3	音声メッセージを音声 A に設定	音声メッセージを音声 A に設定します。	 %9202D00%
4	音声メッセージを音声 B に設定	音声メッセージを音声 B に設定します。	 %9202D01%
5	音声遅延 1 秒	1) ユーザーがバーコードを連続してスキャンすると、定位置型バーコードリーダーは 1 秒ごとに音声メッセージを流します。 2) 1 秒ごとにバーコードをスキャンすると、毎回音声の流れます。	 %9203D01%
6	音声遅延 6 秒	1) ユーザーがバーコードを連続してスキャンすると、定位置型バーコードリーダーは 6 秒ごとに音声メッセージを流します。 2) 6 秒ごとにバーコードをスキャンすると、毎回音声の流れます。	 %9203D06%

4.2 音声の音量設定

説明	設定バーコード
音量 1 (最小音量)	 %9205D00%
音量 2	 %9205D01%
音量 3	 %9205D02%
音量 4	 %9205D03%
音量 5	 %9205D04%
音量 6	 %9205D05%
音量 7	 %9205D06%
音量 8 (最大音量)	 %9205D07%

5 デバイスのメンテナンス

デバイスのウィンドウに汚れまたはほこりがある場合、スキャンの精度が影響されます。

- 1) スキャン窓に研磨剤等を使用しないでください。
- 2) ほこりは湿った布で拭き取ってください。
- 3) スキャン窓部は水で湿らせたティッシュペーパーで拭いてください。
- 4) 水やその他の洗浄液を直接スキャン窓に吹きかけないでください。

6 ASCII リスト

H L	キーボード/USB 用		RS-232 用	
	0	1	0	1
0	Null		NUL	DLE
1	Up	F1	SOH	DC1
2	Down	F2	STX	DC2
3	Left	F3	ETX	DC3
4	Right	F4	EOT	DC4
5	PgUp	F5	ENQ	NAK
6	PgDn	F6	ACK	SYN
7		F7	BEL	ETB
8	Bs	F8	BS	CAN
9	Tab	F9	HT	EM
A		F10	LF	SUB
B	Home	Esc	VT	ESC
C	End	F11	FF	FS
D	Enter	F12	CR	GS
E	Insert	Ctrl+	SO	RS
F	Delete	Alt+	SI	US

注意：上記リストの 2、3 番目の列はキーボードと USB インターフェースだけに使えます。

H L	2	3	4	5	6	7
0	SP	0	@	P	`	p
1	!	1	A	Q	a	q
2	"	2	B	R	b	r
3	#	3	C	S	c	s
4	\$	4	D	T	d	t
5	%	5	E	U	e	u
6	&	6	F	V	f	v
7	'	7	G	W	g	w
8	(	8	H	X	h	x
9	)	9	I	Y	i	y
A	*	:	J	Z	j	z
B	+	;	K	[	k	{
C	,	<	L	¥	l	
D	-	=	M	]	m	}
E	.	>	N	^	n	~
F	/	?	O	_	o	DEL

例：ASCII "A" = "41".

7 印刷できないキャラクターを表すバーコード

以下のバーコードの作成方法：

- 1.バーコード印刷ソフトウェアによって、印刷方法が異なります。
- 2.CODESOFT ソフトウェアを使用する場合は、まずこのソフトウェアのヘルプ「Help→Index→Code128→Special input syntax」をご覧ください。ASCII 表の内容もご参照ください。例、「F1」バーコードをつくる場合、「Code128」を選択してから、「CODE A」を選択し、「{DC1}」をデータとして入力してください。



Up ↑



Down ↓



Left ←



Right →



Page Up



Page Down



Backspace



Tab



Home



End



Enter



Insert



Delete



F1



F2



F3



F4



F5



F6



F7



F8



F9



F10



Esc



F11



F12

8 テストパターン

UPC-A



UPC-E



UPC-E1

(デフォルト設定：読取無効)



EAN-13



ISBN/ISSN



EAN-8



Code 39



Interleaved 2 of 5



Industrial 2 of 5

(デフォルト設定：読取無効)



Matrix 2 of 5



Codabar



Code 128



01AZ[+~*/]za98

UCC/EAN 128



01AZ[]+~az54

ISBT 128



=1234 56789

Code 93



01AZ+~/*az89

Code 11

(デフォルト設定 : 読取無効)



123456789-0

MSI/Plessey

(デフォルト設定 : 読取無効)



0123456789

UK/Plessey

(デフォルト設定 : 読取無効)



01ABEF89

China Post



01234567890

GS1 Databar (GS1 Databar Truncated)



(01) 12345678901231

GS1 Databar Limited



(01) 1 2345678 90126 2

GS1 Databar Expanded



Ab_09+yz

PDF417



12=890ab-+%xyz

QR code



1234567890ABCD-+()&*%^@# \$!XYZ

Data Matrix



123890abc-+=&*%^!mdo

Aztec Code

(デフォルト設定 : 読取無効)



12345678901234567890

Han Xin Code

(デフォルト設定 : 読取無効)



1234567890Hanxin

9 工場出荷時設定の復元とバージョン情報の表示



%%%DEF

工場出荷時設定の復元

定位置型バーコードリーダーを工場出荷時設定に戻すには以上のバーコードをスキャンしてください。



%%%VER

バージョン情報の表示

バージョン情報の表示には以上のバーコードをスキャンしてください。

10 オプションパラメータバーコードの設定



0



2



4



6



8



A



C



E



1



3



5



7



9



B



D



F

パラメータの設定を終了するには、以下のバーコードをスキャンしてください。



%END%